

令和3年度 事務事業

教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検・評価報告書

令和4年8月（議会報告）

豊後大野市教育委員会

目 次

I はじめに	P1
II 教育委員会の活動報告及び内部評価	
1. 教育委員名簿（令和4年3月31日現在）	P2
2. 教育委員会の活動報告	P2～13
(1) 教育委員会の会議	p2～5
① 定例会 ② 臨時会 ③ 総合教育会議	
(2) 学校教育施設への訪問	p6
(3) ジオパーク研修	p6
(4) 行事への臨席	p6～7
(5) 関係機関の会議・研修会への参加	p8～9
(6) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策	p9～12
(7) 小中一貫教育校推進に係る説明会の開催	p12
3. 教育委員会の活動の内部評価	P12～13
III 事務事業の管理及び執行状況の点検・評価の方法	
1. 昨年度の外部評価アドバイザーからの意見	P14～17
2. 点検・評価対象事務事業	P17～22
3. 自己点検・評価と総合点検・評価	P22～23
(1) 自己点検・評価	p22～23
(2) 総合点検・評価	p23
IV 事務事業の管理及び執行状況の点検・評価結果と分析、今後の方向性	
1. 点検・評価結果	P23～31
2. 点検・評価結果の分析	P32～33
(1) 自己点検・評価結果の分析	p32
(2) 総合点検・評価結果の分析	p33
3. 外部評価関係	P34～38
4. 今後の方向性	P38～43
V まとめ	P43～P50

<参照資料> **別冊資料** 「令和3年度決算事業担当課による事務事業評価調書」

学校教育課

P413 ～ P461 に記載しています。

社会教育課

令和4年第3回豊後大野市議会定例会議案

I はじめに

令和3年度における本市教育委員会の事務事業評価を、事務執行状況を中心に行いましたので、その結果内容を報告します。

この報告は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき行うものです。また、報告書は、「開かれた教育行政」を目的に、学校教育（教育総務を含む）及び社会教育の事務事業内容の成果や課題を具体的に明らかにし、次年度以降の事業展開に活かすとともに、市民への説明責任を果たす役割も担っています。

平成30年4月1日から豊後大野市教育委員会行政組織変更に伴い、「教育総務課」は「学校教育課」に統合されました。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号) (抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

= 適用条文 =

(事務の委任等)

第25条 教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、その権限に属する事務の一部を教育長に委任し、又は教育長をして臨時に代理させることができる。

2 (略)

3 (略)

4 教育長は、第1項の規定により委任された事務その他その権限に属する事務の一部を事務局の職員若しくは教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員(以下この項及び次条第1項において「事務局職員等」という。)に委任し、又は事務局職員等をして臨時に代理させることができる。

II 教育委員会の活動報告及び内部評価

1. 教育委員名簿（令和4年3月31日現在）

（敬称略）

職名	氏名	就任年月日	任期
教育長	下田 博	平成29年6月13日	令和2年6月13日 ～ 令和5年6月12日
教育長職務代理者 （教育委員）	矢野 憲一	平成30年5月31日	平成30年5月31日 ～ 令和4年5月30日
教育委員	羽田野 光江	令和元年5月31日	令和元年5月31日 ～ 令和5年5月30日
教育委員	江嶋 真朋子	令和2年5月31日	令和2年5月31日 ～ 令和6年5月30日
教育委員	渡部 稔	令和3年5月31日	令和3年5月31日 ～ 令和7年5月30日

（注）江嶋真朋子委員と渡部稔委員は、保護者代表という立場から就任しています。

（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第5項）

2. 教育委員会の活動報告

（1）教育委員会の会議

教育委員会の会議は、毎月の定例会に加え、必要に応じて臨時会を開催して、豊後大野市教育委員会事務委任規則に基づく事項のほか必要な事項の報告・協議・審議を行っています。

令和3年度は、毎月12回の定例会のほか5回の臨時会を開催（合計/17回）し、7件の報告事項、3件の協議事項、42件の議事案件、1件の指定事項（合計/53件）について報告・協議・審議・指定を行いました。また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく市長招集の総合教育会議に参加し、教育行政に対する意見交換を行いました。

<令和3年度 教育委員会における議事案件(42件)の内容別・会議別内訳>

内容区分	議事 案件数	会議別内訳	
		定例会 (件)	臨時会 (件)
教育に関する事務の管理及び執行の基本方針に関する事	4	4	0
教育委員会の委員構成に関する事	1	0	1
事務局職員及び教職員の人事に関する事	3	0	3
教育委員会規則・規程・要綱等の制定又は改廃に関する事	12	12	0
法令又は条例に定めのある附属機関の委員の委嘱に関する事	11	10	1
条例・予算その他議会の議決を経るべき議案に対する意見申出	2	2	0
その他教育に係る事務に関する事	9	9	0
計	42	37	5

① 定例会

定例会では、次に記載している付議事項等のほかに毎回、教育長と各課からそれぞれ事業報告を行っています。

□4月定例会 令和3年4月27日

協議事項 ・令和3年度豊後大野市大原総合公園公園遊具の整備に関する基本方針(案)について

議事案件 ・豊後大野市図書館協議会委員の任命について
・豊後大野市社会教育委員の委嘱について
・豊後大野市立学校における学校運営協議会委員の任命について
・豊後大野市立学校の制服に関する検討委員会設置要綱(内規)の制定に

□5月定例会 令和3年5月28日

議事案件 ・議案第44号 豊後大野市立学校の制服に関する検討委員会設置要綱(内規)の制定について《継続案件》
・豊後大野市立学校における学校運営協議会委員の任命について
・豊後大野市立学校学校評議員の委嘱について
・豊後大野市学校給食運営委員会委員の委嘱について
・豊後大野市文化財保護審議会委員の委嘱について
・豊後大野市大原総合公園大型複合遊具等整備工事プロポーザル審査委員会設置規程の制定について
・令和3年度豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査について

□6月定例会 令和3年6月28日

報告事項 ・議会関連の報告について
・豊後大野市大原総合公園大型複合遊具等整備工事プロポーザル審査委員の委嘱又は任命について

議事案件 ・豊後大野市図書館協議会委員の任命について
・令和3年度豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査について

□7月定例会 令和3年7月28日

報告事項 ・令和3年度大分県学力定着状況調査結果について

議事案件 ・令和4年度使用中学校教科用図書採択について
・豊後大野市立幼稚園設置条例の一部改正について
・豊後大野市立幼稚園管理規則の一部改正について
・豊後大野市教育委員会公印規則の一部改正について
・豊後大野市立幼稚園預かり保育実施要綱の一部改正について
・令和3年度豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査について

□8月定例会 令和3年8月26日

議事案件 ・豊後大野市内遺跡調査指導委員の委嘱について
・令和3年度豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査について

□9月定例会 令和3年9月28日

報告事項 ・令和3年度全国学力・学習状況調査 結果について

議事案件 ・豊後大野市修学旅行感染症対策支援補助金交付要綱の制定について
・令和3年度豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査について

□10月定例会 令和3年10月28日

議事案件 ・豊後大野市体育施設条例の一部改正について
・豊後大野市学校林の整備について

□11月定例会 令和3年11月26日

報告事項 ・三重学校給食共同調理場調理機器の購入にかかる契約について

議事案件 ・令和3年度豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査について

□12月定例会 令和3年12月23日

議事案件 ・豊後大野市体育施設条例施行規則の一部改正について

□1月定例会 令和4年1月24日

報告事項 ・令和4年度豊後大野市立幼稚園の休園・開園予定について

議事案件 ・豊後大野市立学校施設の目的外使用に関する規則の制定について
・豊後大野市立学校防犯カメラ設置及び管理運用に関する要綱の制定について
・一般会計予算(当初予算等/教育委員会関係分)について
・令和4年度学校教育基本方針について
・令和3年度豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査について

□2月定例会 令和4年2月28日

報告事項 ・豊後大野市教育委員会教育長表彰について

協議事項 ・大分少年院視察委員会委員候補者の推薦について

議事案件 ・令和4年度社会教育基本方針について
・豊後大野市大原総合体育館の指定管理候補者の選定について
・豊後大野市公民館図書室設置及び利用要綱の一部を改正する要綱について
・令和3年度豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査について

□3月定例会 令和4年3月25日

議事案件 ・豊後大野市学校給食共同調理場運営規程の一部改正について

② 臨時会

(注) 開催回数は、暦年で計数しますので当初開催が第1回とはなりません。

□令和3年第3回臨時会 令和3年4月20日

議事案件 ・豊後大野市教育委員会事務局職員の任免及び人事異動について

□令和3年第4回臨時会 令和3年5月31日

指定事項 ・豊後大野市教育委員会教育委員の議席指定について

議事案件 ・豊後大野市教育委員会教育長職務代理者の指名について

- 令和3年第5回臨時会 令和3年8月16日
議事案件 ・(令和2年度事務事業)教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・
評価報告書について
- 令和4年第1回臨時会 令和4年3月5日
協議事項 ・給食費の改正について(諮問)
議事案件 ・令和4年3月末教職員人事異動の一括内申について
- 令和4年第2回臨時会 令和4年3月22日
議事案件 ・豊後大野市教育委員会事務局職員の任免及び人事異動について

(2) 総合教育会議(市長招集)

- 第1回 総合教育会議 (令和3年6月28日)
(議題) ・「豊後大野市教育大綱」について ・「教育行政に関する意見交換」

《参考》

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律(抜粋)

(総合教育会議)

- 第1条の4** 地方公共団体の長は、大綱の策定に関する協議及び次に掲げる事項についての協議並びにこれらに関する次項各号に掲げる構成員の事務の調整を行うため、総合教育会議を設けるものとする。
- (1) 教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策
 - (2) 児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置
- 2 総合教育会議は、次に掲げる者をもつて構成する。
- (1) 地方公共団体の長
 - (2) 教育委員会
- 3 総合教育会議は、地方公共団体の長が招集する。
- 4 教育委員会は、その権限に属する事務に関して協議する必要があると思料するときは、地方公共団体の長に対し、協議すべき具体的事項を示して、総合教育会議の招集を求めることができる。
- 5 総合教育会議は、第1項の協議を行うに当たって必要があると認めるときは、関係者又は学識経験を有する者から、当該協議すべき事項に関して意見を聴くことができる。
- 6 総合教育会議は、公開する。ただし、個人の秘密を保つため必要があると認めるとき、又は会議の公正が害されるおそれがあると認めるときその他公益上必要があると認めるときは、この限りでない。
- 7 地方公共団体の長は、総合教育会議の終了後、遅滞なく、総合教育会議の定めるところにより、その議事録を作成し、これを公表するよう努めなければならない。
- 8 総合教育会議においてその構成員の事務の調整が行われた事項については、当該構成員は、その調整の結果を尊重しなければならない。
- 9 前各項に定めるもののほか、総合教育会議の運営に関し必要な事項は、総合教育会議が定める。

(大綱の策定等)

- 第1条の3** 地方公共団体の長は、教育基本法第17条第1項に規定する基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱(以下単に「大綱」という。)を定めるものとする。
- 2 地方公共団体の長は、大綱を定め、又はこれを変更しようとするときは、あらかじめ、次条第1項の総合教育会議において協議するものとする。
- 3 地方公共団体の長は、大綱を定め、又はこれを変更したときは、遅滞なく、これを公表しなければならない。
- 4 第1項の規定は、地方公共団体の長に対し、第21条に規定する事務を管理し、又は執行する権限を与えるものと解釈してはならない。

(2) 学校教育施設への訪問

学校現場の実態を把握し、今後の学校教育の向上に資するために、市内の小中一貫教育校(1校)、小学校(10校)、中学校(6校)、幼稚園(4園)及び学校給食共同調理場(2施設訪問)、三重総合高校の合計24カ所を令和3年10月11日から10月28日にかけて訪問(延5日間)し、経営状況等の把握を行いました。また、小中一貫教育校、小学校、中学校、幼稚園、三重総合高校では授業参観や職員との懇談も行いました。

実施日	小学校	中学校	幼稚園	調理場ほか 訪問施設
(令和3年) 10月11日	菅尾小学校 百枝小学校 新田小学校 三重第一小学校		三重幼稚園	三重学校給食 共同調理場
10月12日	犬飼小学校 大野小学校	犬飼中学校 大野中学校 三重中学校	おおのさくら幼稚園	
10月15日	清川小学校 緒方小学校	清川中学校 緒方中学校		登録文化財 旧緒方村役場
10月18日	千歳小学校 三重東小学校	千歳中学校	千歳幼稚園 三重東幼稚園	朝地小中一貫教育校 西部学校給食 共同調理場
10月28日				三重総合高校

(3) ジオパーク研修

日本ジオパーク再認定を目指す本市のジオパークの理解を深め、地域の教育資源としての活用や将来への継承や保全に努めていくことを考える機会としました。

実施日	研修先
令和3年 5月25日	ジオ研修(犬飼)
令和3年10月28日	ジオ研修(大野、朝地、緒方)

(4) 行事への臨席

入学式・卒業式等の儀式的行事、運動会・体育大会のほか全市的な学校行事及び教育委員会主催行事等へ臨席しました。

< 臨席行事の主なもの >

開催日	行事名
(令和3年) 4月 6日	教育支援センター「かじか」開所式(移転改修に伴うもの)
4月 9日	市内中学校入学式
4月12日	市内小学校入学式

開催日	行事名
4月13日	市内公立幼稚園入園式
5月16日	朝地小中一貫教育校運動会
6月16日	豊後大野市中学校体育連盟総体(～18日)
7月21日	大分県中学校体育連盟総体(～26日)
8月20日	千歳小中一貫教育校プロポーザル審査委員会
8月25日	2学期始業式
9月 4日	市内中学校体育大会(三重中、緒方中)
9月11日	市内小学校・幼稚園運動会、市内中学校体育大会 (千歳幼小中、清川中、犬飼中、大野中)
9月18日	市内小学校・幼稚園運動会 (菅尾小、百枝小、三重東幼小、新田小、清川小、緒方小、犬飼小)
9月22日	令和3年度 豊後大野市中学校体育連盟 豊後大野市中学校新人体育大会
9月25日	市内小学校・幼稚園運動会 (三重第一小、三重幼、大野小)
10月 2日	大分県中学校体育連盟新人大会(～24日)
10月13日	豊後大野市中学校体育連盟 第17回豊後大野市中学校駅伝競走大会
11月 5日	大分県中学校駅伝競走大会
11月16日	日本ジオパーク再認定審査 公開授業【菅尾小学校】
11月 6日	令和3年度 豊後大野市次代を担う「豊後大野っ子」を育てる市民の集い
11月27日	第33回豊肥地区解放文化祭(緒方中学校講堂)
中止	第66回豊後大野市小中合同音楽祭
中止	第61回中学校弁論大会
(令和4年) 1月 6日	豊後大野市新春互礼会
1月 9日	豊後大野市成人式
中止	第64回県内一周大分合同駅伝(2月21日～24日 ※21日…豊後大野市通過)
中止	市内各公民館生涯学習まつり 等 (2月下旬～3月上旬)
3月 4日	市内中学校卒業式
3月18日	市内公立幼稚園卒園式
3月22日	大原総合公園遊具広場視察
3月23日	市内小学校卒業式

(5) 関係機関の会議・研修会への参加

教育委員としての研鑽、最新の教育行政情報の収集、本市教育委員会の意見反映等につながることから関係機関の会議・研修会には、積極的に参加しました。また、学校現場の実態把握のため、市内各町単位で開催される学力向上会議にも参加しました。 (注)教育長関係を除く

開催日	関係機関会議・研修会名
(令和3年) 6月 1日	令和3年度 豊後大野市非核平和推進協議会総会【書面決議】
6月29日	豊後大野市明るい選挙推進協議会 (市役所 4階 正庁ホール)
7月 8日	令和3年度 第1回豊後大野市人権・部落差別問題啓発推進協議会 (市役所4階正庁ホール)
7月11日	第71回 ”社会を明るくする運動”豊後大野市大会 講演 『子どもの暮らしの中に見つけた「小さなこと」「小さな幸せ」 講師 松永 忠 氏【社会福祉法人 別府光の園 統括施設長】 (豊後大野市総合文化センター[エトピアおおの 大ホール])
8月27日 8月28日	令和3年度 差別をなくす市民のつどい 【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止】
9月27日	令和3年度 第1回学力向上会議 (9月27日～) 9月27日 朝地(朝地小中学校) 10月19日 千歳(千歳中学校)・清川(清川中学校) 10月21日 犬飼(犬飼中学校)・大野(大野中学校) 10月22日 緒方(緒方小学校) 10月25日 三重(三重東小学校)
10月29日	第1回 豊後大野市子ども・子育て会議 (市役所 1階 保健センター)
10月29日	第40回 豊後大野市人権同和教育研究大会 三重大会 (三重大会・新田小・三重第一小) 全体会・公開授業並びに公開講座・研究協議(部会)
11月 1日	第17回(令和3年度)「おおいた教育の日」推進大会(国東市 くにさき総合文化センター) 講演 講師 明石 要一 氏 (千葉敬愛短期大学学長 千葉大学名誉教授)
11月 6日	豊後大野っ子を育てる市民の集い (豊後大野市総合文化センター[エトピアおおの])
12月 4日	令和3年度 人権を守る市民のつどい(豊後大野市総合文化センター[エトピアおおの 大ホール]) 講演 『あきらめない心』 講師 中西麻耶 氏【パラリンピック陸上競技日本代表】
(令和4年) 1月25日	第1回豊後大野市民生委員推薦会・民生委員児童委員の推薦 (市役所 5階 正庁ホール)
1月28日	特色ある学校づくり事業 学校教育実践発表会 (各学校で製作) (例年の学校教育シンポジウムを中止し、代表者の実践発表をケーブルテレビで発信しました。)
2月10日	令和3年度 第2回学力向上会議 (～2月22日) 2月10日 犬飼(犬飼中学校) 2月21日 清川(清川中学校) 2月24日 大野(大野中学校) 2月28日 緒方(緒方小学校) 3月10日 三重(三重東小学校) 2月中旬 朝地(朝地小中学校) 紙面開催 2月中旬 千歳(千歳小学校) 紙面開催

開催日	関係機関会議・研修会名
2月15日	令和3年度 豊後大野市 愛の園生 朝倉文夫記念公園運営委員会 【書面開催】
3月 8日	令和3年度第2回豊後大野市人権・部落差別問題啓発推進協議会 (市役所2階 視聴覚室) 【書面開催】
3月23日	第2回 豊後大野市子ども・子育て会議 (市役所 1階 保健センター)

(6) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

豊後大野市における食中毒、感染症、飲料水、毒物・劇物、医薬品その他の原因(以下「健康危機発生原因」という。)により市民の生命及び健康に重大な影響を及ぼすおそれのある状況に対し、迅速かつ適切な危機管理を行い、健康被害の発生予防及び拡大防止を図るために、豊後大野市健康危機管理対策本部(以下「対策本部」という。)を設置することとなっています。

また、危機管理レベルに応じて、必要な調査若しくは対応をさせるため、豊後大野市健康危機管理対策調整会議(以下「調整会議」という。)を設置することができることとなっています。

本市でも、多数の感染者が発生して学校の臨時休業等を余儀なくされ、迅速な判断が求められる中で、豊肥保健所との連絡調整を経て教育委員会の対応についての判断を行い決定してきました。決定事項については、教育委員への連絡や臨時の校長・所長会議にて周知を行いました。

<対策の経過>

No.	開催日	行事名	場所
1	R3.4.23	第53回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F5第3委員会室
2	R3.4.23	第54回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
3	R3.4.26	第55回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
4	R3.4.28	第56回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
5	R3.5.1	第57回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1市民生活課
6	R3.5.7	第58回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F4第2応接室
7	R3.5.10	第59回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F4第2応接室
8	R3.5.11	第60回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
9	R3.5.12	第61回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1市民生活課
10	R3.5.13	第62回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1市民生活課
11	R3.5.14	第63回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
12	R3.5.17	第64回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
13	R3.5.18	第65回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1市民生活課
14	R3.5.21	第66回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1会議室
15	R3.5.26	第67回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
16	R3.5.31	第68回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
17	R3.5.31	第69回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
18	R3.5.31	第14回豊後大野市健康危機管理対策本部会議	書面決裁
19	R3.6.1	第70回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター

No.	開催日	行 事 名	場 所
20	R3.6.11	第71回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
21	R3.6.24	第72回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
22	R3.6.29	第73回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F4第2応接室
23	R3.7.1	第74回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F4第3応接室
24	R3.7.13	第15回豊後大野市健康危機管理対策本部会議	書面決裁
25	R3.7.15	第75回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
26	R3.7.19	第76回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
27	R3.7.23	第77回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F4
28	R3.8.4	第78回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
29	R3.8.5	第79回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
30	R3.8.7	第80回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F4
31	R3.8.10	第81回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
32	R3.8.11	第82回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F4 応接室
33	R3.8.12	第83回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F4応接室
34	R3.8.13	第84回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F4応接室
35	R3.8.14	第85回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F4
36	R3.8.15	第86回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F4
37	R3.8.16	第87回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F4第2応接室
38	R3.8.17	第88回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
39	R3.8.19	第15回豊後大野市健康危機管理対策本部会議	F5委員会室
40	R3.8.22	第90回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F4階応接室
41	R3.8.26	第91回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
42	R3.8.29	第92回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F4応接室
43	R3.9.1	第93回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F4応接室
44	R3.9.3	第94回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F4応接室
45	R3.9.6	第95回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F4応接室
46	R3.9.8	第96回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F4応接室
47	R3.9.10	第97回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
48	R3.9.13	第98回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F4応接室
49	R3.9.22	第99回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F4応接室
50	R3.9.30	第16回豊後大野市健康危機管理対策本部会議	F4正庁ホール
51	R3.10.15	第100回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
52	R4.1.11	第101回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F4応接室
53	R4.1.18	第102回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
54	R4.1.21	第103回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
55	R4.1.23	第104回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	Zoom会議

No.	開催日	行 事 名	場 所
56	R4.1.25	第105回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
57	R4.1.26	第106回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
58	R4.1.27	第17回豊後大野市健康危機管理対策本部会議	書面決裁
59	R4.1.28	第107回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	Zoom会議
60	R4.1.29	第108回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	Zoom会議
61	R4.2.1	第109回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	Zoom会議
62	R4.2.7	第110回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	Zoom会議
63	R4.2.18	第111回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	Zoom会議
64	R4.3.2	第112回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	F1保健センター
65	R4.3.16	第113回豊後大野市健康危機管理対策調整会議	書面決裁

●新型コロナウイルス感染症にかかる臨時休業等の状況一覧表

No	期間(自)	期間(至)	学校	備考
1	9月13日	～ 9月15日	三重東小学校	臨時休業
2	9月13日	～ 9月15日	三重東幼稚園	臨時休業
3	1月24日	～ 1月26日	三重第一小学校	臨時休業
4	1月27日	～ 1月28日	菅尾小学校	臨時休業
5	1月28日	～ 1月28日	緒方小学校	臨時休業
6	1月31日	～ 2月4日	朝地小中学校	臨時休業
7	1月31日	～ 2月1日	百枝小学校	臨時休業
8	1月31日	～ 2月1日	三重第一小学校	6年学年閉鎖
9	2月4日	～ 2月4日	百枝小学校	臨時休業
10	2月4日	～ 2月4日	三重第一小学校	6年学年閉鎖
11	2月7日	～ 2月7日	清川中学校	臨時休業
12	2月7日	～ 2月8日	百枝小学校	4,6年学級閉鎖
13	2月10日	～ 2月10日	百枝小学校	臨時休業
14	2月10日	～ 2月10日	三重東小学校	臨時休業
15	2月18日	～ 2月18日	千歳小学校	幼稚園も閉鎖
16	2月22日	～ 2月22日	千歳小学校	幼稚園も閉鎖
17	2月22日	～ 2月22日	教育支援センターかじか	臨時休業
18	2月24日	～ 2月25日	三重東小学校	5, 6年学年閉鎖
19	3月1日	～ 3月1日	三重中学校	臨時休業
20	3月3日	～ 3月3日	清川小学校	臨時休業
21	3月10日	～ 3月10日	千歳小学校	2, 5学年閉鎖

No	期間(自)	期間(至)	学校	備考
22	3月11日	～ 3月11日	千歳小学校	2学年閉鎖 幼稚園閉鎖
23	3月15日	～ 3月15日	千歳小学校	臨時休業

教育委員会の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、令和2年度から引き続き、各種対応に努めてまいりました。主には、臨時休業の対応や対応マニュアルの改正、予算が生じる事業としては、感染症予防に関する消毒用品などの消耗品購入やGIGAスクール構想による教職員用タブレットの整備やネットワーク環境の整備、環境整備としてトイレの洋式化や手洗の自動水栓化などについて取組を行ってきました。

(7)小中一貫教育校推進に係る説明会の開催

「町に学校がある」をキーワードに7町に小中一貫教育校設置を推進していますが、保護者を始め地域の方に理解をいただくように説明会等を開催し、地域とともにある学校づくりを推進してきました。また、地域の実態把握のため、市内各町単位で開催される学校運営協議会にも参加しました。(下表は、主な説明会開催状況)

開催期日	開催場所等
5月27日 木	千歳町コミュニティ・スクール説明会
7月6日 火	千歳小学校 PTA への説明会
7月13日 火	千歳中学校 PTA への説明会
7月14日 木	千歳町小中一貫教育校建設期成会への説明会
7月16日 金	第1回 コミュニティ・スクール連絡協議会
7月29日 木	大野町・小中一貫教育校説明会
11月8日 月	清川小中役員会説明
11月19日 金	清川町自治会小中一貫教育説明
12月2日 木	大野小 PTA 小中一貫教育説明
12月3日 金	清川小中 PTA、大野中学校 PTA 小中一貫教育説明
12月20日 月	千歳小中一貫教育校建設設計ワークショップ
2月3日 木	大野中 PTA 役員会(小中一貫教育説明)
2月15日 火	大野小 PTA 役員会(小中一貫教育説明)
2月18日 金	大野小中保護者会(小中一貫教育説明)
2月25日 金	大野町自治会(小中一貫教育説明)

3. 教育委員会の活動の内部評価

教育委員会の内部評価は、① 教育委員会の効率的な運営、② 複雑化する教育課題への対応、③ 総合教育会議と教育委員会事務局の役割、④ 市民への説明責任の遂行、の4点を視点に市長部局の事務事業評価事業と合わせ実施計画事業ごとに行っています。

また、予算執行の状況と併せ、令和3年度の事業内容の実施状況をとおして内部評価を行いました。

① 教育委員会の効率的な運営

教育委員会が教育施策の審議の場となるよう、本市教育委員会の施策や事業の進捗状況について協議しています。特に、予算内容や施策の実現に向けた事前審議、現場の意見・要望の反映などを行っており、今後もその取組の充実に努めていきます。

また、教育委員会の効率的な運営を図るためには、学校現場や社会教育施設の実態を把握する必要があります。そのため、市立学校教育施設への訪問、三重総合高校の訪問、行事への臨席、そして教育委員として各種委員会等へ積極的に参加しています。また、社会教育・社会体育の現場である公民館・社会体育施設の視察やジオパーク活動推進のため市内ジオサイトの見学も実施しています。今後は、先進的な取組をしている他市町村への研修等も検討していきます。

さらに、新型コロナウイルス感染拡大防止に係る対応のように、緊急を要する案件についても迅速に対応できる体制づくりに努めていきます。

② 複雑化する教育課題への対応

いじめ・不登校など子どもたちを取り巻く環境は年々厳しくなり、複雑・多様化しています。このような課題に対し、「豊かな心の醸成と健康な体の育成 ～居場所なしゼロ～」を基本方針に、学校現場や子どもたちの状況について情報交換しながら、解決に向けた方針を確認しています。また、課題解決には、保護者や地域との連携強化が特に必要です。そのため、各町のコミュニティ・スクールの会議にも積極的に参加し、保護者や地域との交流を深め、広く教育ニーズを把握していきます。さらに、教育支援センター「かじか」の場所移転や職員確保による機能拡充をはじめとする教育施策に取り組み、市民の教育に対する信頼と期待に応えられるよう努めていきます。

③ 総合教育会議と教育委員会事務局の役割

教育委員会制度の趣旨として、ア) 中立性の確保 イ) 継続性・安定性の確保 ウ) 地域住民の意向の反映が謳われています。また、地方教育行政における責任の明確化と市長との連携強化を図ることが求められ、総合教育会議が市長招集により開催されています。この会議では教育振興に関する施策の大綱(教育大綱)が策定され、第3次豊後大野市総合教育計画の中間見直しとの整合性を図るため、令和元年度から令和2年度までの2年間の教育大綱を策定しています。今後とも必要に応じて見直しがされた場合には対応を図っていきます。

また、教育委員会事務局が教育大綱に沿った年間の事業計画を教育委員会に提示しながら教育委員会と一体的に取り組んでいます。今後も、教育大綱と教育委員会の定める学校教育・社会教育の基本方針を共有しながら、具体的な教育施策の推進に向け取り組んでいきます。

なお、総合教育会議の議事録は、令和2年度からホームページで公開を行っています。

④ 市民への説明責任の遂行

教育委員会の定例会・臨時会は、原則公開で開催しており、また議事録についても平成25年度からホームページに掲載しています。また、ホームページやケーブルテレビを通じて教育行政情報を提供しています。今後も、市民の信頼と期待に応えられる教育を実現するため、また「開かれた教育行政」の推進のために、市民に向けて積極的な情報発信に努め、教育委員会の活動を市民に広めていきます。

Ⅲ 事務事業の管理及び執行状況の点検・評価の方法

1. 昨年度の外部評価アドバイザーからの意見

【全体的な評価について】

◇小中一貫教育校への移行は、豊後大野市にとって極めて大きな方向転換であったと捉えられがちですが、これまでの「連携型」の経緯からすると、むしろ自然な流れであろうと考えます。全国的にも統廃合対策としての小中一貫教育への動きは加速することが予想されます。今後は、小中一貫教育によって、実際にどのような子どもが育っているのかをきっちりと検証し、教育の質をより高めていくことで、地域住民の理解と協力を得ていく必要があると思います。併せて、「地域とともにある学校づくり」の実現に向けて、一層の取組の推進を期待します。

◇小中一貫教育の実現は、児童生徒の将来を見据えたことのみでなく、地域の活性化にも繋がる大事な取組なので、丁寧な説明のもと、しっかり進めてほしい。

◇第3次豊後大野市総合教育計画並びに教育大綱に基づき、様々な情勢に対応しながら着実に施策を展開していることに対して敬意を表します。その一方で、毎年のように新たな施策が提起され、日々多忙を極めている教育委員会職員・教職員の労働実態が気がかりです。実質的な改善が進みにくい公務職場における「働き方改革」をいかに推進していくのかは、ヘプタゴン教育を結実させる上でも大きな課題と言えます。国や県への働きかけと同時に下田教育長の強力なリーダーシップを望むところです。複雑化する教育課題への迅速に対応しながらも、事業（業務・施策）の思い切った見直し・整理や人的措置を講じるなどし、快適な職場環境づくりに向けて確実な一歩を踏み出してほしいと思います。

◇多様化する教育現場では、教職員の働き方が過重になっていないでしょうか。子どもたちのために優先されるべきことが多い上に、新たな教育事業も増えているので、働き方軽減対策も大切にしてほしいと思います。（学校で子どもたちの最も身近にいる先生方の笑顔こそが、最も大事な環境です。）

◇感染症対策では、学校現場の要望も受け入れながら、先手の施策を推進していただきました。安心・安全の確保につながり、大いに評価します。

◇コロナ禍の影響があり、ご苦勞も多いことが見て取れる中、一つ一つの事業が安全対策を講じながら実施されていることが、すばらしいと思いました。

◇新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について、学校を訪れることが多いのですが、「そこまでするの？」というほど対策が徹底されており、それが功を奏していると思われま。まだまだ続きそうなので、現状維持をお願いします。

◇点検・評価も結果や分析をみると、そのほとんどが高評価で、コロナ感染症が落ち着いてくればさらに高評価となる項目が増えるであろうとの報告は、頼もしい限りです。

◇前年度実施されなかった三重総合高校への訪問を実施していることを評価します。

◇三重総合高校の野球部員が中学生との交流で指導する場面をケーブルテレビで見ることがあります。このような交流は地元高校への志願率に繋がるのではないかと思うので、積極的に働きかけてほしいと思います。

◇「見やすい工夫の依頼」について、今回は資料に事業番号を記入してあり、大変わかりやすかった。

【学校教育課の事務事業について】

〈教育振興事業〉

◇学力向上

ここ数年間の教育委員会・学校現場一体となった着実な取組により、学力は安定してきました。大きな成果だと思えます。今後も全教職員で目標と取組を共有し、授業改善はもとより、とりわけ学力の基盤となる「学級づくり」にさらに力を入れながら、未来を切り拓く力を育成して行ってほしいと願います。

◇キャリア教育

教職員を目指す子どもの育成に取り組んで欲しい。

◇音楽祭・弁論大会・特色ある学校づくり事業・運動会・体育祭・文化祭

心打たれるすばらしい行事も多いので地域の方々には是非観覧いただけるような取組をお願いしたい。学童が一人もいない地区も増加しており、まさに高齢化状態なので、子どもたちの姿を見たり、声を聞いたりすることが学校を中心にする地域コミュニティの維持などに重要な役割になると思います。

〈就学援助事業〉

◇コロナ禍による収入減で、就学援助の申請者の増加も考えられるので、今後も十分な予算確保をお願いします。課題として掲載されている「認定基準の見直し」については必要だと考えますが、逆に数字的には基準値を満たしていなくても実際の生活には困窮している世帯も多いことが想像されます。「貧困状態」が見えにくくなっている今日ですが、そういう世帯にも援助が届く認定方法や特別措置についてもぜひ検討をお願いします。併せて、補助項目の充実・増額についてもご検討ください。

〈小中学校 ICT 環境整備事業〉

◇コロナ禍の副産物といってよい GIGA スクール構想の前倒しにより、ICT 環境は整いました。文科省から新たに提起された「個別最適化」教育の実現に向けては、現場教職員の負担も考慮しながら、一方で学校間格差が生じないように、計画的な研修を継続してほしいと思います。さらに、体育館の Wi-fi 環境の整備について、防災の観点からも検討をお願いします。

◇GIGA スクール構想による活動は、大変なご苦勞がおりと思いますが、個人指導ができ、その成果が表れている現状に遭遇しています。ぜひ継続していただきたい。

〈教育支援センター運営事業〉

◇年々、かじかと学校・家庭の連携が密になり、スタッフを増員しアウトリーチ等も強化しながら、子どもの社会的自立に向けた支援事業が充実してきていると評価します。今後も子どもの「居場所づくり」に向けた施策の推進を期待します。

◇教育支援センター「かじか」でのアウトリーチ活動は大変有意義だと感じます。外への活動ができにくい環境の家庭に出向くわけなので、受ける方は大変助かると思います。さらに、その現状・成果について、もう少し詳しい記述が有ると分りやすいと思います。

〈小・中学校一般管理事業〉

◇財政事情が厳しい中、臨時講師や教育援助員等の会計年度任用職員を可能な限り配置していることを大いに評価します。児童生徒の成長・学力保障に大きく寄与していると思います。今後も最大限の予算確保に努めていただきたいと思います。

〈中学校教育振興事業〉

◇活動指標に設定している「年間図書貸出冊数30冊」の見直しをしてはどうでしょう。読書活動の推進は重要な課題ではありますが、各中学校がどのくらいの重点を置いて組織として如何に取り組んでいるのかが気になるところです。指標を変更しないのであれば、各学校における取組の強化に向けた対策が必要になると思います。

〈幼稚園一般管理事業〉

◇保育料の無償化が導入され、保護者のニーズはますます「教育」より「サービス」に向いています。少子化もさらに進む中、現体制のまま再び幼稚園に子どもを取り戻すことは困難といえます。このままでは、幼稚園は自然淘汰されるでしょう。公立幼稚園の果たしてきた役割、就学前教育の充実という視点から、新たな「適正配置」について教育委員会の強力なリーダーシップを望みます。

◇三重幼稚園が1年の休園で再開園できたことに安堵しました。預かり保育や学童保育との連携や幼稚園間の交流などで、豊後大野市立幼稚園の必要性がさらに認められ、保護者のニーズに応える方策を探ってほしいと思います。

〈給食共同調理場運営事業〉

◇給食費の未収金対策として、週1回の家庭訪問等を実施している点は評価します。職員のご苦勞を察します。長年の課題である未収金対策の抜本的解決に向け、一層の取組をお願いします。

◇地域の人への支えや東洋食品さんも市の方針を理解した上での、給食の提供に感謝します。未収金対策の週に1回の家庭訪問で収納率の向上に努められていることを評価します。

【社会教育課の事務事業について】

〈青少年健全育成事業〉

◇少子化が進む中、地域総ぐるみによる青少年の健全育成は、ますます重要になってくると思います。その中で、各町に設置されている「青少年健全育成会議」の在り方を見直す必要があると思います。ある町では、年に1回総会らしき会議があるものの、独自の活動はなく、実際には機能していません。現体制を維持するのであれば、その存在意義と役割について再確認をお願いいたします。

〈人権教育・部落差別解消推進事業〉

◇人権を学ぶ子ども会事業は、おそらく豊後大野市独自の事業だと思います。数年前からは高校生の参加も見られるようになり喜ばしい限りです。今後のさらなる活動の充実、参加者の拡大を期待したいところです。そのための推進体制の維持や人員配置等について、一層の配慮をお願いいたします。

〈歴史民俗資料館運営事業〉

◇各学校で展開されているジオ学習やふるさと学習は、郷土を愛する子どもや郷土の未来を展望できる子どもの育成につながるもので、今後もさらに進めてほしいと思います。その中で、検討をお願いしたいのは、新たな「教材」の開発です。先人（偉人）の生き方・考え方に学ぶふるさと学習がやや弱いのではと感じます。「人・くらし・こと・自然」に学ぶストーリー性のある新たな教材(読みのも教材)の誕生を期待いたします。

〈図書館管理運営事業〉

◇新図書館の魅力を大いに発信し、市民に愛される図書館づくりを目指してください。その中で、今後、新図書館の町別利用状況を精査し、利用者の少ない町については、利用促進に向けた対策をお願いいたします。併せて、地理的条件等から図書館利用が困難な市民に対しても、何らかの対策を講じていただきたいと思います。その上で、将来的な地域の図書館(学校や公民館)の在り方についても検討してはいかがでしょうか。

◇誇らしい図書館、資料館が新設オープンされましたが、市内でも距離が遠かったり、交通の不便さ等から容易に見学や立ち寄りすらできにくい地域の方に何らかの機会があれば良いと思います。

◇本を借りるのに、自分で操作できる機械が設置されているのに驚きました。指定された場所に本を置くだけで、本の名前が映し出されます。先進的な機械の導入に、急に読書の気分が高まりました。素晴らしいです。借りる本を他人に知られることなく借りることができることを教えられたことにも感銘しました。

◇図書館・資料館がオープンされましたが、距離的に離れており、交通の不便さなどから利用するに至らない地域もあると思うので、もっと気軽に出向けるまたは触れあえる策はないでしょうか。魅力ある情報発信でまずは行ってみたいと思える図書館・資料館の運営を期待します。

2. 点検・評価対象事務事業

本市教育委員会では、市が策定した第2次豊後大野市長期総合計画(平成28～令和7年度)に併せて、国の教育振興基本計画及び大分県総合教育計画等を踏まえた「第4次 豊後大野市総合教育計画」を策定しています。その中で、**～郷土を愛し、つどい、つながり、ふれあい、学び合い、次世代へ未来を拓く、豊後大野の人づくり～**を目標に掲げて3項目の大きな施策体系を定め、その施策体系ごとに具体的な個別施策を掲げて、それに基づき教育委員会事務局で事務事業を実施しています。点検・評価の対象とする事務事業は、令和3年度から市長部局と合わせ大幅な変更をして、予算・決算の実施計画事業ごとの評価方法としています。

また、昨年度の外部評価アドバイザーからの意見を参考にして、どのような取組が実施されたか検証を行いました。

〈第4次 豊後大野市総合教育計画の施策体系〉

- I 協働によるまちづくりの推進 1. 市民が主体の教育行政を推進する
- II 学校教育の充実
 - 1. 3次元空間で豊後大野っ子を育てる 2. 地域との連携を強化する
 - 3. 7つの柱で、多面的な学校教育係を推進する
 - 4. 教職員がいきいきと働き続けられる環境を整備する 5. 高等学校を支援する
- III 社会教育の充実
 - 1. 若年から高齢者まで、さまざまな年代への学びを提供する
 - 2. 学校・家庭・地域の連携・協働による「協育」ネットワークを構築する
 - 3. 7つの柱で、多面的な社会教育を推進する

▼ 令和3年度予算・決算における事務事業及び実施計画事業一覧表 ▼

課名	大事業		細事業	実施計画事業	
学校教育課	1	教育委員会運営事業	教育委員会運営事業	1	教育委員会運営事業
大事業 16	2	教育委員会事務局事業	事務局運営事業	2	人権・部落差別解消教育研究大会補助事業
				3	三重総合高校の明日を拓く会補助事業
実施計画事業 57				4	教育振興特別奨学金給付事業
				5	奨学金返還支援補助事業
			基金運営管理事業	6	基金運営管理事業
	3	教育振興事業	日本スポーツ振興センター事業	7	日本スポーツ振興センター事業
			学校教育力向上対策事業	8	学校教育力向上対策事業
			教育振興事業	9	学校教育振興協議会補助事業
				10	中学校体育連盟補助事業
				11	スクールソーシャルワーカー活用事業
				12	教員業務サポートスタッフ活用事業
				13	小中一貫コーディネーター活用事業
				14	「生理の貧困」対策事業
				15	著作物使用料
				16	学力向上指導員
			外国語指導助手事業	17	外国語指導助手事業
			特色ある学校づくり推進事業	18	特色ある学校づくり推進事業
			教育バス運行管理事業	19	教育バス運行管理事業
キャリア教育推進事業	20	キャリア教育推進事業			
	21	郷土の先輩事業			

課名	大事業	細事業	実施計画事業
		魅力ある学校づくり推進事業	22 魅力ある学校づくり推進事業
		O I T A 仕事発見・夢発見事業	23 O I T A 仕事発見・夢発見事業
4	就学援助事業	要保護児童生徒援助事業	24 要保護児童生徒援助事業
		特別支援教育就学奨励事業	25 特別支援教育就学奨励事業
		就学援助事業	26 就学援助事業
5	遠距離通学運営事業	スクールバス運行管理事業	27 スクールバス運行管理事業
		遠距離通学事業	28 遠距離通学事業
6	小中学校 I C T 環境整備事業	小中学校 I C T 環境整備事業	29 小中学校 I C T 環境整備事業
7	教育支援センター運営事業	教育支援センター運営事業	30 学校教育指導員活用事業
			31 かじか教室運営事業
			32 教育支援コーディネーター活用事業
8	小学校一般管理事業	小学校一般管理事業	33 学校教育援助員活用事業
			34 学校司書活用事業
			35 学校主事活用事業
			36 学校図書主事活用事業
			37 臨時講師活用事業
		フッ化物洗口推進事業	38 フッ化物洗口推進事業
9	小学校施設維持管理事業	小学校施設維持管理事業	39 小学校施設維持管理事業
10	小学校教育振興事業	小学校教育振興事業	40 小学校教育振興事業
		理科教育設備等整備事業	41 理科教育設備等整備事業
11	中学校一般管理事業	中学校一般管理事業	42 学校教育援助員活用事業

課名	大事業		細事業	実施計画事業	
				43	学校司書活用事業
				44	学校主事活用事業
				45	学校図書主事活用事業
				46	臨時講師活用事業
				47	フッ化物洗口推進事業
	12	中学校施設維持管理事業	中学校施設維持管理事業	48	中学校施設維持管理事業
	13	中学校教育振興事業	中学校教育振興事業	49	各種大会等出場補助事業
				50	部活動指導員活用事業
				51	中学校教育振興事業
			理科教育設備等整備事業	52	理科教育設備等整備事業
	14	幼稚園一般管理事業	幼稚園一般管理事業	53	幼稚園教諭（会計年度）活用事業（地域子ども・子育て支援分）
				54	子育てのための施設等利用給付事業
	15	幼稚園施設維持管理事業	幼稚園施設維持管理事業	55	幼稚園施設維持管理事業
	16	給食共同調理場運営事業	給食共同調理場運営事業	56	給食共同調理場運営事業
給食共同調理場コロナ対策環境整備事業			57	環境整備事業	

課名	大事業		細事業	実施計画事業	
社会教育課 大事業 9 実施計画事業 39	1	社会教育総務事業	社会教育総務事業	1	社会教育指導員活用事業
				2	P T A 連合会補助事業
				3	女性団体等活動費補助事業
	2	青少年健全育成事業	子ども文化・芸能事業	4	子ども文化・芸能事業
			放課後子ども教室事業	5	放課後子ども教室事業

課名	大事業	細事業	実施計画事業		
		成人式事業	6	成人式	
			7	成人式（R3年分）	
		中学校国際交流事業	8	中学校国際交流事業	
		青少年健全育成大会事業	9	青少年健全育成大会事業	
	3	公民館管理運営事業	公民館施設管理事業	10	公民館施設管理事業
			公民館運営事業	11	公民館運営事業
			自治公民館整備支援事業	12	自治公民館整備支援事業
			感染症予防対策事業	13	感染症予防対策事業
				14	公民館図書室蔵書
			公民館等指定管理事業	15	公民館等指定管理事業
	4	人権教育・部落差別解消推進事業	人権教育・部落差別解消推進講座事業	16	人権教育・部落差別解消推進講座事業
			人権を学ぶ子ども会事業	17	人権を学ぶ子ども会事業
				18	高校生人権学習会事業
	5	資料館運営事業	資料館運営事業	19	資料館運営事業
	6	文化財保護事業	国宝重要文化財等保存整備費事業（埋蔵文化財）	20	国宝重要文化財等保存整備費事業（埋蔵文化財）
			埋蔵文化財調査事業（単独）	21	埋蔵文化財調査事業（単独）
			指定文化財等調査保護事業（単独）	22	指定文化財等調査保護事業（単独）
			国宝重要文化財等保存整備費事業（文化的景観）	23	国宝重要文化財等保存整備費事業（文化的景観）
			文化的景観保存活用事業（単独）	24	文化的景観保存活用事業（単独）
	7	図書館管理運営事業	図書館館外事業	25	移動図書館事業

課名	大事業	細事業	実施計画事業	
		図書館館内事業	26 図書購入事業	
		図書館教育事業	27 図書館教育事業	
		図書館運営事業	28 図書館運営事業	
		感染症予防対策事業	29 感染症予防対策事業	
	8	スポーツ推進総務事業	スポーツ推進総務事業	30 各地区スポーツ振興会補助事業
				31 スポーツ協会補助事業
				32 各種スポーツ大会出場補助事業
				33 総合型地域スポーツクラブ活動支援補助事業
				34 スポーツ推進委員
	9	スポーツ施設管理事業	スポーツ施設管理事業	35 大原総合体育館指定管理委託事業
				36 豊後大野市スポーツ施設基本計画策定業務
				37 全天候型体育施設整備事業
			感染症予防対策事業	38 感染症予防対策事業
			大原総合運動公園大型複合遊具等整備事業	39 遊具等整備事業

▼ 主管課別事務事業数及び細事業数 ▼

主管課	事務事業数	実施計画事業数	評価すべき事業
学校教育課	10 事務事業	57 細事業	57 細事業
社会教育課	9 事務事業	39 細事業	39 細事業
計	19 事務事業	96 細事業	96 細事業

3. 自己点検・評価と総合点検・評価

まず、市長部局の事務事業評価調書の基準によって自己点検・評価（課長評価）を行い、その後、総合評価を行いました。

(1) 自己点検・評価（課長評価）

自己点検・評価（課長評価）は、係長が評価5項目の判断を5～1の評点で行ったものを、課長の視点で改めて評価を行ったものです。

【自己点検・評価の評価項目と主な着眼点 5点評価】

評価項目	主な着眼点
1.	☞ 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか
2.	☞ 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果資料設定事業内での優先度)
3.	☞ 事業計画どおりに事業を進めることができたか
4.	☞ 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか
5.	☞ 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

【自己点検・評価】

評価項目番号	評価点	1	2	3	4	5
1.		なっていない ⇒ なっている				
2.		優先度が低い ⇒ 優先度が高い				
3.		できなかった ⇒ できた				
4.		推移していない ⇒ 推移した				
5.		推移していない ⇒ 推移した				

※自己点検・評価の最高評価点数は、評価項目5項目が全て満点の場合25点となります。ただし、実施計画書で成果について数値化目標を設定できない事業については、活動目標のみの設定となり、評価項目の2と5を除いた3項目を評価して最高評価点数が15点となります。

(2)総合点検・評価(管理職評価)

総合点検・評価は、教育長及び教育委員会管理職で構成する教育委員会所管事務事業内部評価会議により、主管課の自己点検・評価結果を検証した後に、成果目標の有無により区分して今後の方向性について9段階で評価を行いました。

【総合点検・評価】

評価項目	評価内容(今後の事業の方向性について)
A	現状のままで継続
B-1	見直しの上で継続(拡充)
B-2	見直しの上で継続(手段等の改善)
B-3	見直しの上で継続(効率化・RPA等)
B-4	見直しの上で継続(縮小)
B-5	見直しの上で継続(統合)
C	終了
D	休止
E	廃止

IV 事務事業の管理及び執行状況の点検・評価結果と分析、今後の方向性

1. 点検・評価結果

次のとおり、令和3年度の教育委員会所管96実施計画事業を成果目標の有無ごとに区分したうえで、各実施計画事業の自己点検・評価結果及び総合点検・評価結果を行いましたので報告します。

番号	課名	款 項 目	大 事 業	細 事 業	実施計画事業	(活動目標のみ) 自己点検評価	(活動・成果目標) 自己点検評価	総合点検評価		
1	学校教育課	10 1 1	1	教育委員会運営事業	教育委員会運営事業	教育委員会運営事業	15		A.現状のまま継続	
2		10 1 2	2	教育委員会事務局事業	事務局運営事業	人権・部落差別解消教育研究大会補助事業	15		A.現状のまま継続	
3		10 1 2				三重総合高校の明日を拓く会補助事業	15		A.現状のまま継続	
4		10 1 2				教育振興特別奨学金給付事業	15		C.終了	
5		10 1 2				奨学金返還支援補助事業	15		A.現状のまま継続	
6		10 1 2				基金運営管理事業	基金運営管理事業	15		A.現状のまま継続
7		10 1 3				3	教育振興事業	日本スポーツ振興センター事業		
8		10 1 3	学校教育力向上対策事業	学校教育力向上対策事業					25	A.現状のまま継続
9		10 1 3	教育振興事業	学校教育振興協議会補助事業	12					A.現状のまま継続
10		10 1 3	中学校体育連盟補助事業	12					A.現状のまま継続	
11		10 1 3	スクールソーシャルワーカー活用事業					25		A.現状のまま継続
12		10 1 3	教員業務サポートスタッフ活用事業					25		A.現状のまま継続
13		10 1 3	小中一貫コーディネーター活用事業					25		A.現状のまま継続
14		10 1 3	「生理の貧困」対策事業					15		A.現状のまま継続

番号	課名	款 項 目	大事業	細事業	実施計画事業	(活動目標のみ) 自己点検評価	(活動・成果目標) 自己点検評価	総合点検評価
15		10 1 3			著作物使用料	3		A.現状のまま継続
16		10 1 3			学力向上指導員		25	A.現状のまま継続
17		10 1 3		外国語指導助手事業	外国語指導助手事業		20	A.現状のまま継続
18		10 1 3		特色ある学校づくり推進事業	特色ある学校づくり推進事業		25	B.見直しの上で継続-2 手段等の改善
19		10 1 3		教育バス運行管理事業	教育バス運行管理事業		25	A.現状のまま継続
20		10 1 3		キャリア教育推進事業	キャリア教育推進事業		25	A.現状のまま継続
21		10 1 3			郷土の先輩事業		25	B.見直しの上で継続-2 手段等の改善
22		10 1 3		魅力ある学校づくり推進事業	魅力ある学校づくり推進事業		24	C.終了
23		10 1 3		O I T A 仕事発見・夢発見事業	O I T A 仕事発見・夢発見事業		22	C.終了
24		10 1 3	4	就学援助事業	要保護児童生徒援助事業		15	A.現状のまま継続
25		10 1 3		特別支援教育就学奨励事業	特別支援教育就学奨励事業		15	A.現状のまま継続
26		10 1 3		就学援助事業	就学援助事業		15	A.現状のまま継続

番号	課名	款 項 目	大 事 業	細 事 業	実施計画事業	(活動目標のみ) 自己点検評価	(活動・成果目標) 自己点検評価	総合点検評価
27		10 1 3	5	遠距離通 学運営事 業	スクールバス 運行管理 事業	スクールバス運行管 理事業	15	A.現状のまま継 続
28		10 1 3			遠距離通 学事業	遠距離通学事業	15	A.現状のまま継 続
29		10 1 3	6	小中学校 I C T環 境整備事 業	小中学校 I C T環 境整備事 業	小中学校 I C T環 境整備事業	20	B.見直しの上で 継続-1 拡充
30		10 1 4			7	教育支援 センター運 営事業	教育支援セ ンター運営 事業	学校教育指導員活 用事業
31		10 1 4	かじか教室運営事業	25			A.現状のまま継 続	
32		10 1 4	教育支援コーディネ ーター活用事業	25			A.現状のまま継 続	
33		10 2 1	8	小学校一 般管理事 業	小学校一 般管理事 業	学校教育援助員活 用事業	25	A.現状のまま継 続
34		10 2 1			学校司書活用事業	25	A.現状のまま継 続	
35		10 2 1			学校主事活用事業	25	A.現状のまま継 続	
36		10 2 1			学校図書主事活用 事業	25	A.現状のまま継 続	
37		10 2 1			臨時講師活用事業	25	A.現状のまま継 続	
38		10 2 1			フッ化物洗 口推進事 業	フッ化物洗口推進事 業	22	A.現状のまま継 続
39		10 2 1	9	小学校施 設維持管 理事業	小学校施 設維持管 理事業	小学校施設維持管 理事業	15	A.現状のまま継 続

番号	課名	款 項 目	大事業	細事業	実施計画事業	(活動目標のみ) 自己点検評価	(活動・成果目標) 自己点検評価	総合点検評価
40		10 2 2	10	小学校教育振興事業	小学校教育振興事業		25	A.現状のまま継続
41		10 2 2		理科教育設備等整備事業	理科教育設備等整備事業		25	A.現状のまま継続
42		10 3 1	11	中学校一般管理事業	学校教育援助員活用事業	3		A.現状のまま継続
43		10 3 1			学校司書活用事業		25	A.現状のまま継続
44		10 3 1			学校主事活用事業		25	A.現状のまま継続
45		10 3 1			学校図書主事活用事業		25	A.現状のまま継続
46		10 3 1			臨時講師活用事業		25	A.現状のまま継続
47		10 3 1			フッ化物洗口推進事業	フッ化物洗口推進事業		19
48		10 3 1	12	中学校施設維持管理事業	中学校施設維持管理事業	15		A.現状のまま継続
49		10 3 2	13	中学校教育振興事業	各種大会等出場補助事業	15		A.現状のまま継続
50		10 3 2			部活動指導員活用事業		25	A.現状のまま継続
51		10 3 2			中学校教育振興事業		25	A.現状のまま継続
52		10 3 2			理科教育設備等整備事業	理科教育設備等整備事業		25

番号	課名	款 項 目	大 事 業	細 事 業	実施計画事業	(活動目標のみ) 自己点検評価	(活動・成果目標) 自己点検評価	総合点検評価
53		10 4 1	14	幼稚園一 般管理事 業	幼稚園一 般管理事 業	幼稚園教諭（会計 年度）活用事業 （地域子ども・子育て 支援分）	25	A.現状のまま継 続
54		10 4 1						
55		10 4 1	15	幼稚園施 設維持管 理事業	幼稚園施 設維持管 理事業	幼稚園施設維持管 理事業	15	A.現状のまま継 続
56		10 6 3	16	給食共同 調理場運 営事業	給食共同 調理場運 営事業	給食共同調理場運 営事業	25	A.現状のまま継 続
57		10 6 3						

番号	課名	款 項 目	大 事 業	細 事 業	実施計画事業	(活動目標のみ) 自己点検評価	(活動・成果目標) 自己点検評価	総合点検評価			
1	社会教育課	10 5 1	1	社会教育総 務事業	社会教育 総務事業	社会教育指導員活 用事業	19	A.現状のまま継 続			
2		10 5 1							P T A 連 合 会 補 助 事業	24	A.現状のまま継 続
3		10 5 1							女性団体等活動費 補助事業	24	A.現状のまま継 続
4		10 5 1	2	青少年健全 育成事業	子ども文化・ 芸能事業	子ども文化・芸能事 業	18	A.現状のまま継 続			
5		10 5 1							放課後子ども 教室事業	放課後子ども教室事 業	23

番号	課名	款 項 目	大事業	細事業	実施計画事業	(活動目標のみ) 自己点検評価	(活動・成果目標) 自己点検評価	総合点検評価
6		10 5 1		成人式事業	成人式		25	A.現状のまま継続
7		10 5 1			成人式 (R3 年分)		23	C.終了
8		10 5 1		中学校国際交流事業	中学校国際交流事業		19	B.見直しの上で継続-2 手段等の改善
9		10 5 1		青少年健全育成大会事業	青少年健全育成大会事業		25	A.現状のまま継続
10		10 5 2	3 公民館管理運営事業	公民館施設管理事業	公民館施設管理事業		22	A.現状のまま継続
11		10 5 2		公民館運営事業	公民館運営事業		23	A.現状のまま継続
12		10 5 2		自治公民館整備支援事業	自治公民館整備支援事業		20	B.見直しの上で継続-2 手段等の改善
13		10 5 2		感染症予防対策事業	感染症予防対策事業	15		A.現状のまま継続
14		10 5 2			公民館図書室蔵書	15		A.現状のまま継続
15		10 5 2		公民館等指定管理事業	公民館等指定管理事業		23	A.現状のまま継続
16		10 5 3		4 人権教育・部落差別解消推進事業	人権教育・部落差別解消推進講座事業	人権教育・部落差別解消推進講座事業		24
17		10 5 3	人権を学ぶ子ども会事業		人権を学ぶ子ども会事業		25	A.現状のまま継続

番号	課名	款 項 目	大事業	細事業	実施計画事業	(活動目標のみ) 自己点検評価	(活動・成果目標) 自己点検評価	総合点検評価
18		10 5 3			高校生人権学習会 事業		21	A.現状のまま継続
19		10 5 4	5	資料館運営 事業	資料館運 営事業	資料館運営事業	22	A.現状のまま継続
20		10 5 4	6	文化財保護 事業	国宝重要 文化財等 保存整備 費事業 (埋蔵文 化財)	国宝重要文化財等 保存整備費事業 (埋蔵文化財)	13	B.見直しの上で 継続-5 統合
21		10 5 4		埋蔵文化 財調査事 業(単 独)	埋蔵文化財調査事 業(単独)	9		A.現状のまま継続
22		10 5 4		指定文化 財等調査 保護事業 (単独)	指定文化財等調査 保護事業(単独)	23		A.現状のまま継続
23		10 5 4		国宝重要 文化財等 保存整備 費事業 (文化的 景観)	国宝重要文化財等 保存整備費事業 (文化的景観)	15		B.見直しの上で 継続-5 統合
24		10 5 4		文化的景 観保存活 用事業 (単独)	文化的景観保存活 用事業(単独)	9		--- R4年度か ら実施
25		10 5 5	7	図書館管理 運営事業	図書館館 外事業	移動図書館事業	13	A.現状のまま継続
26		10 5 5			図書館館 内事業	図書購入事業	24	A.現状のまま継続
27		10 5 5			図書館教 育事業	図書館教育事業	23	A.現状のまま継続

番号	課名	款 項 目	大事業	細事業	実施計画事業	(活動目標のみ) 自己点検評価	(活動・成果目標) 自己点検評価	総合点検評価
28		10 5 5		図書館運営事業	図書館運営事業		25	A.現状のまま継続
29		10 5 5		感染症予防対策事業	感染症予防対策事業	9		----- R4年度から実施
30		10 6 1	8	スポーツ推進総務事業	各地区スポーツ振興会補助事業		23	A.現状のまま継続
31		10 6 1			スポーツ協会補助事業		23	A.現状のまま継続
32		10 6 1			各種スポーツ大会出場補助事業		23	A.現状のまま継続
33		10 6 1			総合型地域スポーツクラブ活動支援補助事業		23	A.現状のまま継続
34		10 6 1			スポーツ推進委員		24	A.現状のまま継続
35		10 6 2	9	スポーツ施設管理事業	大原総合体育館指定管理委託事業		25	A.現状のまま継続
36		10 6 2			豊後大野市スポーツ施設の整備等に関する基本計画策定業務	15		A.現状のまま継続
37		10 6 2			全天候型体育施設整備事業	15		A.現状のまま継続
38		10 6 2		感染症予防対策事業	感染症予防対策事業	15		A.現状のまま継続
39		10 6 2		大原総合運動公園大型複合遊具等整備事業	遊具等整備事業	15		C.終了

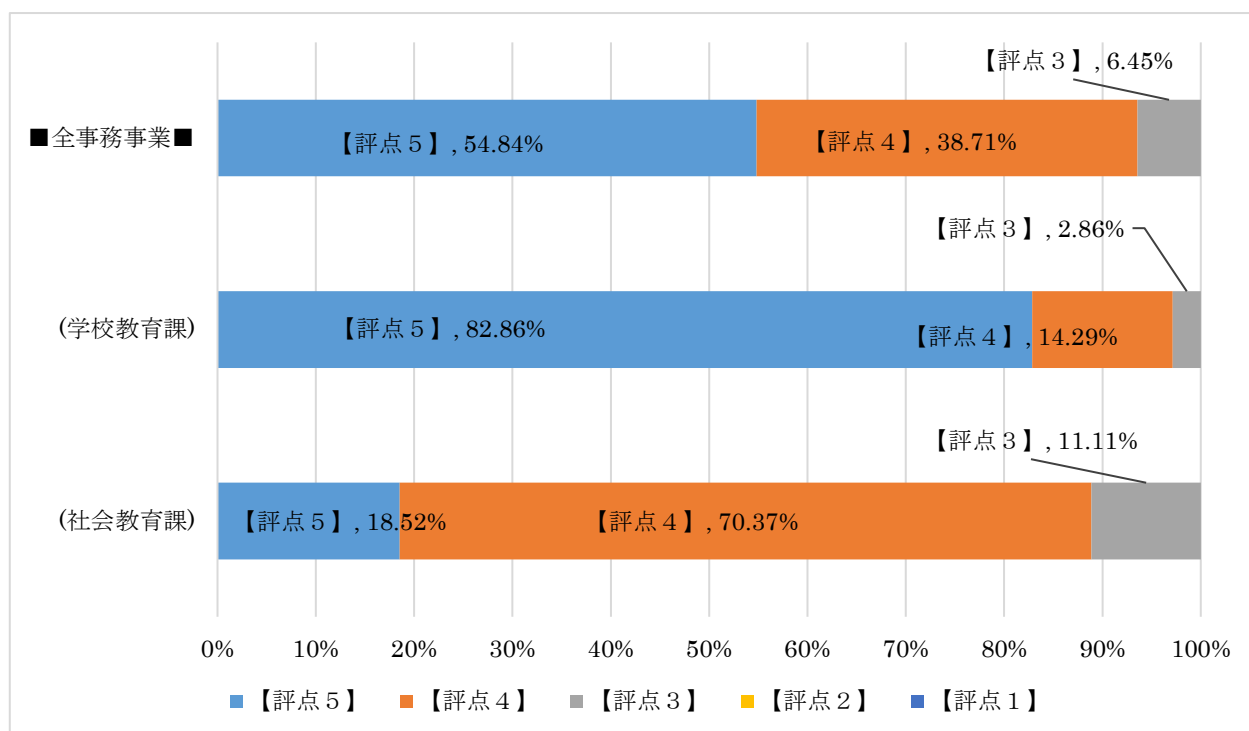
2. 点検・評価結果の分析

(1) 自己点検・評価結果の分析

評 点	評 点 基 準	
5	達 成	(25点以上)
4	着実に達成	(20点以上24点未満)
3	やや不十分	(15点以上19点未満)
2	不十分	(10点以上14点未満)
1	抜本的見直しが必要	(1点以上 9点未満)

自己点検・評価結果の分析については、全96事業のうち成果目標設定がある62事業について評点を1～5点に整理して分析をしました。「評点5」が34事務事業、「評点4」が24事務事業、「評点3」が4事業でした。「評点3」の4事務事業についても、新型コロナウイルス感染症対策で事業が実施できなかったことや主管課がその事務事業の成果目標を高く持っているためであるため、全ての事務事業において、その目標をほぼ達成していると評価しています。

区 分	事務事業数	自己点検・評価結果					
		評点5	評点4	評点3	評点2	評点1	
全事務事業	62	34	24	4	0	0	
	100.00%	54.84%	38.71%	6.45%	0.00%	0.00%	
	(学校教育課)	35	29	5	1	0	0
	100.00%	82.86%	14.29%	2.86%	0.00%	0.00%	
	(社会教育課)	27	5	19	3	0	0
100.00%	18.52%	70.37%	11.11%	0.00%	0.00%		

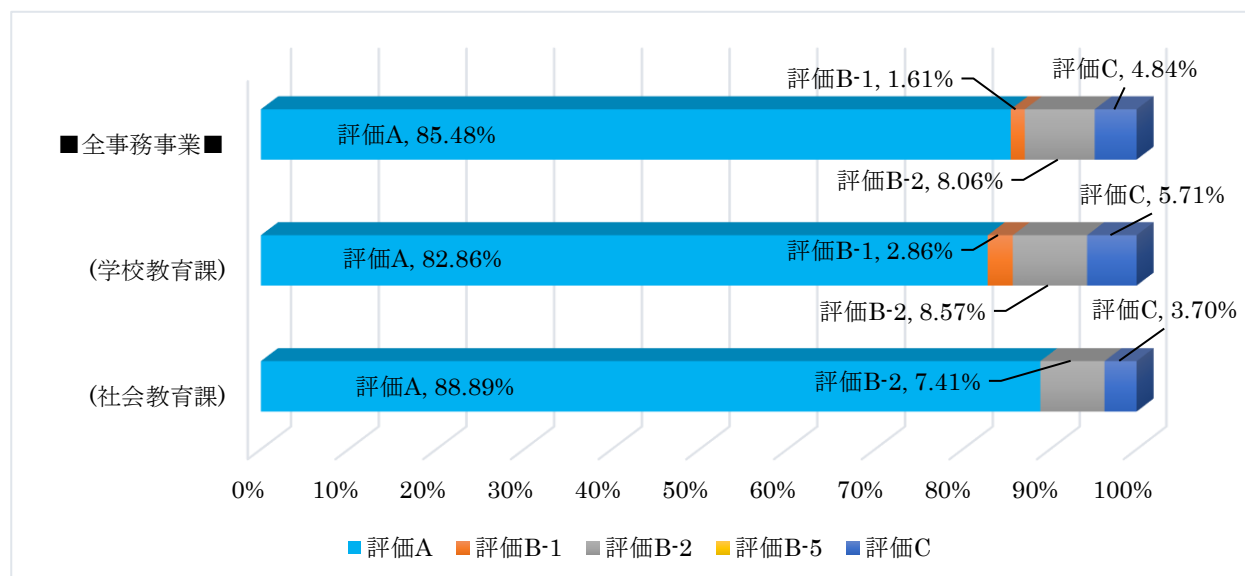


(2) 総合点検・評価結果の分析

評価項目	評価内容(今後の事業の方向性について)
A	現状のままで継続
B-1	見直しの上で継続(拡充)
B-2	見直しの上で継続(手段等の改善)
B-3	見直しの上で継続(効率化・RPA等)
B-4	見直しの上で継続(縮小)
B-5	見直しの上で継続(統合)
C	終了
D	休止
E	廃止

総合点検・評価結果は、「評価A」が53事務事業、「評価B-1」が1事務事業、「評価B-2」が5事務事業、「評価C」が3事業でした。自己点検・評価結果を基に、今後の事業の方向性について評価を行い、「評価A」と「評価B」についてが、95%を占めており、何らかの見直しが必要であっても継続すべき事業として評価しています。今後も、直近の教育情勢を踏まえ、市民の教育に対する信頼と期待に応えられるように、常に見直しの視点に立ち、必要に応じて教育施策の拡充または立案を行って施策展開していくことが必要です。

区分	事務事業数	総合点検・評価結果				
		評価 A	評価 B-1	評価 B-2	評価 B-5	評価 C
全事務事業	62	53	1	5	0	3
	100.00%	85.48%	1.61%	8.06%	0.00%	4.84%
	(学校教育課)	35	29	1	3	2
	100.00%	82.86%	2.86%	8.57%	0.00%	5.71%
(社会教育課)	27	24	0	2	0	1
	100.00%	88.89%	0.00%	7.41%	0.00%	3.70%



3. 外部評価関係

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項の規定による有識者の知見の活用については、自己点検・評価（内部評価）の後に、以下に記載した3名の学識経験者に、外部評価会議にて外部評価アドバイザーとして、内部評価等に対するアドバイス並びに意見を求めました。

No.	ふりがな氏名	学識経験内容
1	えとう けいこ 衛藤 恵子	教育行政経験者（元教育委員）
2	あさくら かずひで 朝倉 和秀	教育行政経験者（元市職員）
3	ふかた みきお 深田 幹男	教育行政経験者（社会教育委員）

■ 外部評価会議における外部評価アドバイザーからの意見

【全体的な評価について】

コロナ禍3年目を迎えています。下田教育長のリーダーシップのもと、迅速な危機管理を行いながら先手のコロナ対応施策を講じ、「子どもの学び」「地域の学び」を止めないための施策が展開されていることに対して敬意を表します。

- ・豊肥保健所等と連絡調整を図り、臨時休業等を実施するなどの迅速な対応は、安心・安全の確保につながり、大いに評価します。
- ・教職員のコロナ感染拡大防止対策指導(検温、常時の手指消毒や給食時の黙食等)が徹底していることを感じます。

その一方で、学校現場では、様々な場面における親睦を深める機会が殆ど奪われていたり、また、教職員の世代や入れ替わりも激しくなったりする中で、職員同士の連帯感や一体感が薄まっているのではと危惧します。これは古い世代の戯言かもしれませんが、市内に勤務する全ての教職員の豊後大野愛、地域愛の一層の醸成に向けて、さらなる取り組みの推進を期待します。

各事業の実績についてはよく理解できますが、その事業による成果(アウトカム)が分かりにくい事業が多いと感じました。そもそも事務事業評価調書にどこまで記載されるべきなのかについては分かりませんし、一つ一つの事業については、単年度ごとの評価が難しい点もあると思いますが、可能な範囲で所見欄の中に触れていくと、より丁寧ではないかと思えます。また、あわせて第4次豊後大野市教育総合計画の中間総括の中では、より具体的な評価をお願いいたします。

さらに気になるところが、職員の労働負担過重です。児童生徒を軸として考えることと教職員を軸として考えることとで困難が大きいと思えますが、様々な教育課題への対応は、適切な人材配置を行い、事業の見直しを行うなどして、業務の負担軽減を行うことが大切だと思えます。職員の健康が保たれ笑顔で働けるよう、更なる快適な職場環境づくりを期待します。避けては通れない時期に来ています。積極的に取り組みをお願いします。

【学校教育課の実施事業について】

〈教育委員会事務局事業〉

◇三重総合高校の存続に向けた支援

三重総合高校への進学者数がわずかながらでも増えていることを評価します。教育委員会、

高校と強く連携した中学校現場における計画的な進路指導の成果だと思えます。今後、生徒数のさらなる減少により、県内の高校再々編成が行われる可能性もあります。市内唯一の高校を存続させるため、中・長期的視野に立った強力な支援策の推進を期待します。

〈教育振興事業〉

◇教育力向上

「確かな学力の育成」を掲げ、長年の組織的な取り組みにより、子どもの学力は安定し、「主体的な自己実現」に向けた素地は着実に形成されつつあると思えます。多忙を極めながらも、共に高まろうとする学習集団を目ざし、全教職員の共通理解の上で、日夜、指導方法の工夫・改善に取り組んでいる先生方に対して敬意を表します。また、教育委員会と学校現場が一体となった着実な取り組みとなっていることを感じます。今後もヘプタゴン教育の具現化に向け、豊後大野市としての統一感をさらに前面に出しながらの施策の推進を期待します。

◇小中一貫教育

保護者等に向けた丁寧な説明等により、移行に向けた土壌づくりが整ってきていることを評価します。引き続き、先行実施をしている朝地小中学校の成果と課題を十分に検証しながら、より教育的効果を高める一貫教育のあり方についての研究をさらに深め、豊後大野市版の一貫教育校を完成していくことで、地域からの期待に応えてほしいと思えます。

◇特色ある学校づくり

「地域とともにある学校づくり」に向け、各学校の創意ある取り組みが続けられていることはすばらしいと思えます。その一方で、どの学校も各種体験活動等でお世話になる地域の方々の高齢化が進んでいるのではと気になります。コミュニティ・スクールに於けるコーディネーター機能が活かされている町については、問題が無いと思えますが、人材発掘・育成が思うように進んでいない町もあるかと。地域人材の世代交代に向け、かつてのように公民館がその役割の一部を負担することも検討してはと考えます。

◇小中学校 ICT 環境整備事業

「GIGA スクール構想」による活動は、時代に合った内容であり、効果が期待されます。その実現に向けては、現場の教職員の負担も考慮しつつ、研修機会を増やすなどして、学校間格差が生じないような計画的な研修を望みます。

◇キャリア教育

大分県内の教職員試験受験者は、年々減少の一途をたどっています。近年の大量退職がさらに拍車をかけており、全国的にも教員不足が問題ともなっています。そこで、その中・長期的な解決策の一つとして、教職員をめざす子どもを増やすためのキャリア教育の実践があるのではと考えます。まずは、現場の教職員が自身の仕事にやりがいと誇りを持ち、その上で生徒たちが「職業としての教員」について考えていく場が必要です。「出身教員」を増やすことは、教育の質を向上させるだけでなく、郷土愛の醸成やひいては地域の活性化に繋がっていくと思えます。

◇小・中学校一般管理事業

財政状況が厳しい中、臨時講師や教育援助員等の会計年度職員を可能な限り配置してい

ることを大いに評価します。児童生徒の成長・学力保障に大きく寄与していると思います。今後も最大限の予算確保を期待します。

〈就学援助事業〉

景気低迷と物価高騰、コロナ禍による収入減、さらには家庭環境の複雑化等により、就学援助の申請者の増加が見込まれるために、今後も十分な予算の確保をお願いします。併せて、昨今、社会問題化している「ヤングケアラー」についても、所管課と連携しながらの実態把握と支援をお願いします。

〈教育支援センター運営事業〉

指導体制が整備されたことにより、かじかと学校・家庭の連携がさらに密になり、子どもの社会的自立に向けた諸活動が充実してきていることを評価します。今後も、「家庭から一歩外へ」を基本理念に、子どもの居場所づくりに向けた支援を期待します。

〈小学校一般管理事業〉

◇フッ化物洗口

小学校では、先行実施を含めると6年目を迎えています。これまでの虫歯対策は、歯磨き指導と食育、それにフッ化物洗口の3本柱で取り組みを進めてきたわけですが、12才児のDMF値をみると、わずかながら改善しているとのこと。過去のデータによると、虫歯は、小6年から中1・2年にかけて、さらに増える傾向が認められます。コロナ禍で実施しにくい面はあろうと思いますが、今後は、中学校での実施率向上にも力を入れてはどうでしょうか。

さらに、希望する児童・生徒のみが学校で行っており、コロナ禍で、それを指導する教職員の大変さを感じます。保護者の同意が得られない理由を分析し、解決策を講じるなど良い方向へ向かうことを期待します。

〈中学校教育振興事業〉

部活動指導員について、人選の困難さはあると思いますが、運動部活動の地域移行の取り組みと並行しながら、さらなる事業の拡大を期待します。

〈幼稚園一般管理事業〉

1園につき3名体制で幼児教育に取り組んでいることを評価します。入園児は、年々減少してはいますが、今後も公立幼稚園が果たしてきた就学前教育のさらなる充実を図り、安心・安全な幼児教育を提供するための体制づくりに努めていただきたいと思います。

また、廃園幼稚園の有効活用をお願いします。

〈給食共同調理場運営事業〉

コロナ禍における安心・安全な給食の提供に向けた取り組み、また、各学校を訪問しての計画的な食の指導の取り組みを評価します。長年の課題である給食費滞納問題については、関係職員の収納業務、お疲れ様です。引き続き、法的措置への移行も含め、対策を強化してください。一方で、このところの食材費等の高騰が給食費の値上がりにつながるのではないかと危惧します。

【社会教育課の事務事業について】

〈青少年健全育成事業〉

◇青少年健全育成大会

例年開催されている「豊後大野っ子を育てる市民の集い」は、学校・家庭・地域が連携した活力と実行力のある青少年健全育成活動に向け、一定の成果を上げていると思いますが、さらなる内容の創意・工夫や参加者の拡大に向けた取り組みをお願いしたいと思います。その中で、評価調書の所見欄に「家庭教育力の向上を図ることができた」と記載されていますが、その評価の根拠が分かりづらいので、補足説明が必要だと思います。

〈公民館管理運営事業〉

指定管理者制度が導入されましたが、対応が丁寧で良かったです。

〈感染予防対策事業〉

市内公民館6館の図書整備については、その趣旨は理解できますが、その利用状況はどうだったのでしょうか。事業目的にある「外出抑制する市民の在宅時間を豊かにする」ことに、果たしてどの程度繋がったかについては、検証すべきだと思います。

〈人権教育・部落差別解消推進事業〉

◇人権教育・部落差別解消推進講座

今後も、「部落差別の解消なくして全ての差別の解消はない」という理念に基づき講座の方法や内容を工夫しながら、さらなる人権意識の涵養に努めてください。また、各世代に於いて、この問題に対する理解度や認識度が違うことから、より計画的・系統的な学習が必要ではないかと思えます。

◇人権を学ぶ子ども会(高校生)

人権を学ぶ子ども会事業は、小・中・高校生があらゆる差別の実態を学ぶことにより、差別を見抜き、差別を解消するための実践力のある子どもの育成に寄与しています。今後も推進体制の維持や人員配置等について、一層の配慮を期待します。

また、高校生の部への参加者は増えていないものの、この学習会が継続して行われていることを評価します。豊肥地区の高校を拠点に、さらに参加の輪が広がることを期待します。また、豊肥地区の誇るべき取り組みである「解放文化祭」の益々の充実・発展に向けても支援をお願いいたします。

〈図書館管理運営事業〉

図書館の内容や運営が充実しており、とても利用しやすいと感じます。

自分が初めて入館した際に感じたワクワク感や癒しの空間的な存在(ただ、本を借りるだけの機能でなく、パワースポット的な感覚を感じました)を1人でも多くの方に知ってもらいたいと思います。

〈図書館館外事業〉

新図書館の利用者数に町毎の大きな差が生じているのは、地理的条件からして、ある面やむを得ないと思いますが、遠隔地の市民への読書支援について、団体貸し出しの利用促進や電子図書館等の充実等も含め、更なる取組の推進をお願いいたします。

〈資料館運営事業〉

資料館の内容が充実しており、入館者数に表れているようです。今後とも貴重な歴史資料の発掘や収集、魅力ある企画展示等を期待します。

〈スポーツ推進総務事業〉

運動部活動の地域移行については、文科省が20年前に「地域総合型スポーツクラブを母体として学校から地域への移行を推進する」との方針を打ち出しましたが、遅々として進んでいません。指導者の確保、身分の問題、危機管理等、課題は多いと思いますが、現在のモデル校として試験的な取り組みを模索している朝地小中学校が一定の方向性を導き出せるよう強力な支援をお願いします。

■点検及び報告書作成までの経緯

- ☞ 7月21日 内部連絡調整会議（教育委員会各課へ自己点検・評価の依頼）
- ☞ 7月22日 教育委員会所管事務事業 内部評価会議
（教育長及び教育委員会管理職による各課の自己点検・評価結果の検証及び総合点検評価）
- ☞ 7月27日 教育委員会所管事務事業 第1回外部評価会議
（外部評価アドバイザーに対する各課所管課長補佐・係長による事業概要説明）
- ☞ 8月9日 教育委員会所管事務事業 第2回外部評価会議（外部評価アドバイザーと教育委員会管理職による評価結果の協議等）
- ☞ 8月16日 教育委員会 第4回臨時会 議案提案・審議

4. 今後の方向性

事務事業の今後の方向性については、総合点検評価を実施し、外部評価アドバイザーの意見を踏まえて評価結果をまとめました。

番号	課名	款 項 目	大 事 業	細 事 業	実施計画事業	総合点検評価	
1	学校教育課	10 1 1 1	教育委員会運営事業	教育委員会運営事業	教育委員会運営事業	A.現状のまま継続	
2		10 1 2 2	教育委員会事務局事業	事務局運営事業	人権・部落差別解消教育研究大会補助事業	A.現状のまま継続	
3		10 1 2			三重総合高校の明日を拓く会補助事業	A.現状のまま継続	
4		10 1 2			教育振興特別奨学金給付事業	C.終了	
5		10 1 2			奨学金返還支援補助事業	A.現状のまま継続	
6		10 1 2			基金運営管理事業	基金運営管理事業	A.現状のまま継続
7		10 1 3 3	教育振興事業	日本スポーツ振興センター事業	日本スポーツ振興センター事業	A.現状のまま継続	
8		10 1 3			学校教育力向上対策事業	学校教育力向上対策事業	A.現状のまま継続
9		10 1 3			教育振興事業	学校教育振興協議会補助事業	A.現状のまま継続

番号	課名	款 項 目	大 事 業		細 事 業	実施計画事業	総合点検評価
10		10 1 3				中学校体育連盟補助事業	A.現状のまま継続
11		10 1 3				スクールソーシャルワーカー活用事業	A.現状のまま継続
12		10 1 3				教員業務サポートスタッフ活用事業	A.現状のまま継続
13		10 1 3				小中一貫コーディネーター活用事業	A.現状のまま継続
14		10 1 3				「生理の貧困」対策事業	A.現状のまま継続
15		10 1 3				著作物使用料	A.現状のまま継続
16		10 1 3				学力向上指導員	A.現状のまま継続
17		10 1 3			外国語指導助手事業	外国語指導助手事業	A.現状のまま継続
18		10 1 3			特色ある学校づくり推進事業	特色ある学校づくり推進事業	B.見直しの上で継続 -2 手段等の改善
19		10 1 3			教育バス運行管理事業	教育バス運行管理事業	A.現状のまま継続
20		10 1 3			キャリア教育推進事業	キャリア教育推進事業	A.現状のまま継続
21		10 1 3				郷土の先輩事業	B.見直しの上で継続 -2 手段等の改善
22		10 1 3			魅力ある学校づくり推進事業	魅力ある学校づくり推進事業	C.終了
23		10 1 3			O I T A 仕事発見・夢発見事業	O I T A 仕事発見・夢発見事業	C.終了
24		10 1 3	4	就学援助事業	要保護児童生徒援助事業	要保護児童生徒援助事業	A.現状のまま継続
25		10 1 3			特別支援教育就学奨励事業	特別支援教育就学奨励事業	A.現状のまま継続
26		10 1 3			就学援助事業	就学援助事業	A.現状のまま継続
27		10 1 3	5	遠距離通学運営事業	スクールバス運行管理事業	スクールバス運行管理事業	A.現状のまま継続
28		10 1 3			遠距離通学事業	遠距離通学事業	A.現状のまま継続
29		10 1 3	6	小中学校 I C T 環境整備事業	小中学校 I C T 環境整備事業	小中学校 I C T 環境整備事業	B.見直しの上で継続 -1 拡充

番号	課名	款 項 目	大 事 業	細 事 業	実施計画事業	総合点検評価
30		10 1 4 7	教育支援センター運営事業	教育支援センター運営事業	学校教育指導員活用事業	A.現状のまま継続
31	10 1 4	かじか教室運営事業			A.現状のまま継続	
32	10 1 4	教育支援コーディネーター活用事業			A.現状のまま継続	
33		10 2 1 8	小学校一般管理事業	小学校一般管理事業	学校教育援助員活用事業	A.現状のまま継続
34	10 2 1	学校司書活用事業			A.現状のまま継続	
35	10 2 1	学校主事活用事業			A.現状のまま継続	
36	10 2 1	学校図書主事活用事業			A.現状のまま継続	
37	10 2 1	臨時講師活用事業			A.現状のまま継続	
38	10 2 1	フッ化物洗口推進事業		フッ化物洗口推進事業	A.現状のまま継続	
39		10 2 1 9	小学校施設維持管理事業	小学校施設維持管理事業	小学校施設維持管理事業	A.現状のまま継続
40		10 2 2 10	小学校教育振興事業	小学校教育振興事業	小学校教育振興事業	A.現状のまま継続
41	10 2 2	理科教育設備等整備事業		理科教育設備等整備事業	A.現状のまま継続	
42		10 3 1 11	中学校一般管理事業	中学校一般管理事業	学校教育援助員活用事業	A.現状のまま継続
43	10 3 1	学校司書活用事業			A.現状のまま継続	
44	10 3 1	学校主事活用事業			A.現状のまま継続	
45	10 3 1	学校図書主事活用事業			A.現状のまま継続	
46	10 3 1	臨時講師活用事業			A.現状のまま継続	
47	10 3 1	フッ化物洗口推進事業		フッ化物洗口推進事業	B.見直しの上で継続 -2 手段等の改善	
48		10 3 1 12	中学校施設維持管理事業	中学校施設維持管理事業	中学校施設維持管理事業	A.現状のまま継続
49		10 3 2 13	中学校教育振興事業	中学校教育振興事業	各種大会等出場補助事業	A.現状のまま継続
50	10 3 2	部活動指導員活用事業			A.現状のまま継続	

番号	課名	款 項 目	大 事 業		細 事 業	実施計画事業	総合点検評価
51		10 3 2				中学校教育振興事業	A.現状のまま継続
52		10 3 2				理科教育設備等整備事業	理科教育設備等整備事業
53		10 4 1	14	幼稚園一般管理事業	幼稚園一般管理事業	幼稚園教諭（会計年度）活用事業（地域子ども・子育て支援分）	A.現状のまま継続
54		10 4 1				子育てのための施設等利用給付事業	A.現状のまま継続
55		10 4 1	15	幼稚園施設維持管理事業	幼稚園施設維持管理事業	幼稚園施設維持管理事業	A.現状のまま継続
56		10 6 3	16	給食共同調理場運営事業	給食共同調理場運営事業	給食共同調理場運営事業	A.現状のまま継続
57		10 6 3				給食共同調理場コナ対策環境整備事業	環境整備事業

番号	課名	款 項 目	大 事 業		細 事 業	実施計画事業	総合点検評価
1	社会教育課	10 5 1	1	社会教育総務事業	社会教育総務事業	社会教育指導員活用事業	A.現状のまま継続
2		10 5 1				P T A 連合会補助事業	A.現状のまま継続
3		10 5 1				女性団体等活動費補助事業	A.現状のまま継続
4		10 5 1	2	青少年健全育成事業	子ども文化・芸能事業	子ども文化・芸能事業	A.現状のまま継続
5		10 5 1			放課後子ども教室事業	放課後子ども教室事業	A.現状のまま継続
6		10 5 1			成人式事業	成人式	A.現状のまま継続
7		10 5 1				成人式（R3年分）	C.終了
8		10 5 1			中学校国際交流事業	中学校国際交流事業	B.見直しの上で継続 -2 手段等の改善
9		10 5 1	青少年健全育成大会事業	青少年健全育成大会事業	A.現状のまま継続		
10		10 5 2	3	公民館管理運営事業	公民館施設管理事業	公民館施設管理事業	A.現状のまま継続
11		10 5 2			公民館運営事業	公民館運営事業	A.現状のまま継続

番号	課名	款 項 目	大 事 業	細 事 業	実施計画事業	総合点検評価	
12		10 5 2		自治公民館整備支援事業	自治公民館整備支援事業	B.見直しの上で継続 -2 手段等の改善	
13		10 5 2		感染症予防対策事業	感染症予防対策事業	A.現状のまま継続	
14		10 5 2			公民館図書室蔵書	A.現状のまま継続	
15		10 5 2		公民館等指定管理事業	公民館等指定管理事業	A.現状のまま継続	
16		10 5 3	4	人権教育・部落差別 解消推進事業	人権教育・部落差別解 消推進講座事業	人権教育・部落差別解 消推進講座事業	A.現状のまま継続
17		10 5 3		人権を学ぶ子ども会事業	人権を学ぶ子ども会事業	A.現状のまま継続	
18		10 5 3			高校生人権学習会事業	A.現状のまま継続	
19		10 5 4	5	資料館運営事業	資料館運営事業	資料館運営事業	A.現状のまま継続
20		10 5 4	6	文化財保護事業	国宝重要文化財等保存整 備費事業（埋蔵文化財）	国宝重要文化財等保存 整備費事業（埋蔵文化 財）	B.見直しの上で継続 -5 統合
21		10 5 4		埋蔵文化財調査事業（単 独）	埋蔵文化財調査事業 （単独）	A.現状のまま継続	
22		10 5 4		指定文化財等調査保護事 業（単独）	指定文化財等調査保護 事業（単独）	A.現状のまま継続	
23		10 5 4		国宝重要文化財等保存整 備費事業（文化的景観）	国宝重要文化財等保存 整備費事業（文化的景 観）	B.見直しの上で継続 -5 統合	
24		10 5 4		文化的景観保存活用事業 （単独）	文化的景観保存活用事 業（単独）	---	
25		10 5 5	7	図書館管理運営事 業	図書館館外事業	移動図書館事業	A.現状のまま継続
26		10 5 5		図書館館内事業	図書購入事業	A.現状のまま継続	
27		10 5 5		図書館教育事業	図書館教育事業	A.現状のまま継続	
28		10 5 5		図書館運営事業	図書館運営事業	A.現状のまま継続	
29		10 5 5		感染症予防対策事業	感染症予防対策事業	---	
30		10 6 1	8	スポーツ推進総務事 業	スポーツ推進総務事業	各地区スポーツ振興会補 助事業	A.現状のまま継続

番号	課名	款 項 目	大 事 業	細 事 業	実施計画事業	総合点検評価
31		10 6 1			スポーツ協会補助事業	A.現状のまま継続
32		10 6 1			各種スポーツ大会出場補助事業	A.現状のまま継続
33		10 6 1			総合型地域スポーツクラブ活動支援補助事業	A.現状のまま継続
34		10 6 1			スポーツ推進委員	A.現状のまま継続
35		10 6 2	9 スポーツ施設管理事業	スポーツ施設管理事業	大原総合体育館指定管理委託事業	A.現状のまま継続
36		10 6 2			豊後大野市スポーツ施設の整備等に関する基本計画策定業務	A.現状のまま継続
37		10 6 2			全天候型体育施設整備事業	A.現状のまま継続
38		10 6 2		感染症予防対策事業	感染症予防対策事業	A.現状のまま継続
39		10 6 2		大原総合運動公園大型複合遊具等整備事業	遊具等整備事業	C.終了

V まとめ

本市教育委員会は、市長部局の事務事業評価の点検・評価に加えて、独自に自己点検・総合評価を平成25年度より、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第26条」に基づき実施しています。

市長部局の事務事業評価では、本年度より大幅な見直しがあり、予算が伴う細分化された実施計画を事務事業とする扱いとなり、担当課による分析として①市民の満足度、②事業の優先度、③事業の進捗度、④活動指標（活動目標）の達成度、⑤成果指標（成果目標）の達成度について、「総合計画実施計画書／事務事業評価調書」によりそれぞれ5段階評価をして分析をしています。

教育委員会独自の自己点検・総合評価についても、市長部局の事務事業評価を基に教育委員会の活動や教育委員会2課における事務事業について内部評価を行いました。自己点検評価は、市長部局と同様に達成度5項目に対して達成率による5段階評価を行い、総合評価は、事務事業の成果を含め翌年度以降の事業の方向性を総合的に判断して、A～Eの9段階評価としています。その結果、多くの事業において概ね活動指標を達成できており、一定の成果が得られました。

昨年度の外部評価アドバイザーからいただいた意見を踏まえ、事業を実施しました。特に、小中一貫教育校の実現については、朝地小中学校における取組の状況やアンケートの結果を検証し、今後の取組の参考に、町ごとに推進の方法を検討しながら進めています。併せて、地域の理解を深めていただくため、PTAや各町の学校運営協議会、自治会等で

の説明を行ってきました。引き続き「地域とともにある学校づくり」を推進していきます。

教職員の「働き方改革」については、市教委及び各校で「働き方改革プラン」を策定し、職場ごとに工夫した取組を行いました。今後も、各月、学期ごとの短期、中期の点検を実施し、実態把握に努め「働き方改革」を進めていきます。

三重総合高校と中学校との交流については、昨年度、県の「OITA 仕事発見・夢発見事業」を受託し、三重総合高校生とその地域の中学生が合同で地元企業の訪問を実施したことにより、部活動を通じての中・高生の交流もスムーズに行われました。今後さらに三重総合高校と中学校の連携を深められるよう努めていきます。

確かな学力の育成については、重点目標として、「学びに向かう集団づくり」を掲げ、主体的・自主的な特別活動の充実、仲間づくりや人権学習の実践等を行いました。これからも予測不能な世の中と言われる未来を生きていく力の育成に努めてまいります。

また、令和3年2月に開館した新図書館については、積極的な広報活動に取組んだ結果、令和3年度は、従前の2倍以上の7万8千946人の皆様にご来館いただくことができました。一方、新資料館は令和3年7月に開館し、ジオパークの拠点施設として学校や市民に対する教育普及活動を行い、そのことが11月に行われた再認定審査においても高い評価をいただきました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、いくつかの事業が中止又は縮小実施となりました。新型コロナウイルスとの「共生」を視野に入れて、引き続き感染拡大防止対策に取り組むとともに、教育環境を取り巻く社会・経済情勢の急激な変化に対しても、的確かつ早急な対応ができるよう努めていきます。

1. 学校教育課(10事務事業・57実施計画事業)

『郷土を愛し、つどい、つながり、ふれあい、学び合い、次世代へ未来を拓く、豊後大野の人づくり』を基本理念とし、質の高いヘプタゴン教育をめざし、「地域とともにあるヘプタゴン教育」を基本方針として定めています。『「主体的な自己実現」を目指して』を基本目標とし、多面的に子どもを捉え、地域とともにある学校づくりを推進し、学校・家庭・地域と行政が協働しながら取組を進めてきました。ヘプタゴン教育を進めて、3年目をむかえ、「誰も取り残さない」そして、教育制度としての小中一貫教育を基盤にした「地域とともにある学校づくり」をメインとした「地域とともにあるヘプタゴン教育」を推進してきました。

①協働によるまちづくりの推進

毎月1回、年12回の定例会、5回の臨時会の開催や、市長招集の総合教育会議を年1回開催し、教育の内容等について協議や意見交換を行ってきました。所管する施設視察や各町の学校運営協議会に参加し、「地域とともにある学校づくり」を推進してきました。令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染症対策についての協議も進めてきました。

②学校教育の充実

ア. 地域とともにある学校づくりの推進

各町に設置されている、学校運営協議会を中心として、「地域とともにある学校づくり」を推進してきました。学校運営協議会では、地域、保護者のより主体的な学校運営への参画をめざし、学校の目標を協働により達成し、未来を担う子どもたちの豊

かな成長のため取組を進めています。また、防災教育において、地域の方と共に、学校での防災教育が地域防災となる取組を進めています。令和3年度には清川小学校で、大分大学や大分合同新聞社とも連携し、保護者や地域の方と連携した、地域の防災意識を高める防災教育を進めました。

イ. 小中一貫教育校設置の推進（校種間連携）

豊後大野市小中一貫教育校については、9年間の系統的で継続した学びの中で「主体的な自己実現」を図ることのできる力を持った生徒を育成します。令和3年4月から朝地小中学校が小中一貫教育校として開校し、各町では、それぞれの町の計画に沿った取組を進めています。令和3年度は、各町の学校運営協議会、PTA、自治会等で、設置に向けた説明を行ってきました。また、令和6年度に施設一体型でスタートする千歳小中学校、清川小中学校においては、建設の準備を始めているところです。

校種間連携では、幼保・小との連携としておおのさくら幼稚園と大野小学校を指定し、年間を通した連携を進めています。また、三重総合高校との連携として、県の事業である「OITA仕事発見・夢発見事業」で中学生と三重総合高校生と合同で地域の事業所を訪問し、キャリア教育を推進しました。

ウ. GIGAスクール構想の推進

GIGAスクール構想により、市内の全児童生徒に一人1台の端末配置、及びネットワーク工事を行いました。指導する教職員の研修をICT支援員により実施しています。端末を「GONちゃん」(Gadget Of Nexus)と名付け、使用についてのマナーやセキュリティ指導、教職員の研修の充実にも取り組んでおり、活用推進を図っています。端末の家庭への持ち帰りに向けての環境整備を行い、どの学校においても持ち帰りが可能となっています。

エ. 小学校教科担任制について

市内すべての小学校5・6年生を中心に、可能な教科において、教科担任制を実施しています。研究指定校の三重第一小学校、三重東小学校、百枝小学校を中心に、三重町を研究指定地域として、その取組の環流を図りました。また、小中一貫教育の一環として実施している、中学校教員の小学校への乗り入れ授業も教科担任制ととらえて推進しています。

オ. 新型コロナウイルス感染症対策の推進

昨年度に引き続き、学校での感染防止対策や感染が確認された場合の対応等、コロナ株の変異等をみながら、市内の小中学校で統一した取組をしてきました。また、学校の休校、行事の縮小開催など、感染状況や国、県の動向をもとに、豊後大野市危機管理対策調整会議によりその対応を協議しながら学校教育を進めてきました。

感染症対策として、消毒に関する消耗品（マスク、消毒液、スプレーボトル等）の環境整備にも引き続き取り組んでいます。また、新型コロナウイルスの影響により急激に所得が減少した世帯に対しての就学援助事業も実施し、義務教育に必要な援助を実施してきました。今後も新型コロナウイルス感染症対策には、環境整備面も含めて取り組んでいきます。

カ. 教育支援センター「かじか」の強化

教育支援センター「かじか」では、不登校の状態にある児童生徒の学びの場として、社会的自立を目指しその機能の拡大を図っています。令和3年度は、コーディネーター3名、指導員4名を配置し、週5日の開室を基本としアウトリーチ活動も進め、学校、

スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーと連携をとりながら、児童生徒の支援を行っています。令和2年3月に移転を行い、充実した施設となり、児童生徒の新たな居場所となっています。また、今後は、教職員の研修センターとしての機能の向上も図っていきます。

③学校環境の充実

ア. 働きやすい職場環境の整備

働き方改革については、市教委及び各学校において「働き方改革プラン2021」を策定し、働きやすい職場づくりに取り組んでいます。また、ストレスチェックの結果から職場の見直しを行い、教職員も子どもも笑顔で生活できる学校づくりをめざしています。

今日、各校における人員の交代が短期間となっている現状があり、より組織的な学校運営が必要になってきています。また、現在学校が行っていることで、地域や保護者等に役割が移行できる取り組みを見直していく必要もあります。

イ. 専門スタッフの等の適正配置

学校教育の充実を図るために、会計年度任用職員として、臨時講師、学校司書、学校主事、図書主事、教育援助員、スクールサポートスタッフ等を適切に配置しています。これにより、小学校での英語教育の推進や特別支援教育の充実に努めました。

ウ. 幼稚園の配置の適正化の推進

幼稚園の配置については、「幼稚園のあり方内部検討委員会」の方針に従い、令和元年から3年連続休園であった通山幼稚園については、令和2年から地元説明会を行い、令和3年をもって廃園となりました。今後も、地域のニーズや園児数の動向をみながら内部検討委員会等での検討を進め、公立幼稚園の適正配置について、検討を進めます。

④ 高等学校の支援と安心して教育を受けられる環境の充実

本市唯一の高等学校である三重総合高校が、次代を担う地域の子どもや家庭にとって魅力ある高等学校となるように、その支援団体である「三重総合高校の明日を拓く会」を通して、活動補助金を交付し支援を行いました。

また、「豊後大野市奨学金返還支援補助金交付要綱」を制定し、奨学金の返還を支援することにより、安心して教育を受けることのできる環境をつくるとともに、本市への若者の移住定住及び地元就職の促進を図る取組を行いました。今後も、地域の将来を担う高い志を持つ若者を育成するとともに、市内における充実した教育環境の整備を図ります。

⑤ 給食調理場業務

給食共同調理場運営事業においては、三重調理場、西部調理場において安心安全な給食の提供を行っています。また、新型コロナウイルス感染症対策にかかる地方創生臨時交付金を活用した三重・西部調理場の換気空調設備改修工事を行いました。さらに、三重調理場の老朽化した調理場機器及び配送車両の更新も行う等、環境を整えていきます。

2.社会教育課(10事務事業・39実施計画事業)

公民館や体育施設、図書館、資料館を拠点として、社会教育の推進を行いました。

① 生涯学習及び人権・部落差別解消教育の推進

ア. 青少年健全育成

放課後チャレンジ事業は、公民館指定管理者の一般社団法人「ここからプラス」に三重町5校を除く市内6校の事業を委託し、学校・地域・家庭が相互に連携をとりながら、家庭教育力と地域の協育力の向上を目指して「協育」ネットワークの構築を図りました。家庭教育事業では、幼児・児童とその保護者を対象に親子での時間を共有し、学習・交流の場を提供するとともに、地域全体で家庭教育支援を行いました。さらに、「豊後大野っ子を育てる市民のつどい」では、『「笑って前向きに！」～素敵な大人の背中を見せましょう～』と題しまして、中山まさともさんを招聘し講演会を開催しました。青少年健全育成市民会議では、次代を担う青少年を、たくましく、心豊かに成長させるために、各団体が課題や取組に関する情報交換や共有を行い、年間を通じたあいさつ運動を始め様々な青少年健全育成活動の充実に向けて、学校・家庭・地域・行政が一体となって取り組みました。ただ、コロナ禍により子ども文化・芸能大会事業、中学校国際交流事業、国際キャンプは中止を余儀なくされました。

イ. 社会教育総務事業

生涯学習施策を効果的・総合的に推進するための組織・体制の充実を図り、社会教育委員の専門性の向上と生涯学習施策の更なる推進を図るため、各団体が主催する研修会（コロナ禍によるリモート開催）などに積極的に参加しました。

ウ. 公民館管理運営事業

公民館等の指定管理者制度導入に関し、一般社団法人「ここからプラス」と協定書を締結して、令和3年度から指定管理者として、公民館及び社会体育施設の管理・運営を委託しました。指定管理者においても、特色ある公民館づくりとして、青少年教育では、夏休み創作体験教室、チャレンジサマースクール、犬飼っ子ふるさと学習会サマーキャンプ等を開催し、自然を理解し大切に作る心、人に対する慈しみの心を養い、自主性や社会性・協調性などを身につけさせる取り組みを実施しました。ただ、新型コロナウイルスの感染拡大により通学合宿等の一部を中止する措置を講じました。また、女性学級や高齢者学級も、コロナ感染防止を図るため、中止や回数を減らす等の対応をとりながら、様々な学習活動を通じてお互いの交流を深め、仲間づくりや幅広い教養を身につける機会を提供しました。なお、残念ながら学習活動の成果を発表する機会である公民館まつりは、コロナ禍により中止となりました。

エ. 人権教育・部落差別解消推進事業

様々な場と機会を通じた人権教育を推進するため、部落差別問題を始めとするあらゆる人権に関する正しい理解を深め、自らの問題として人権問題の解決に取り組むため、各町の公民館で同一受講者による5回の連続講座を実施しました。また、各種団体の学習機会を捉え、講師を派遣しての人権学習推進に努めました。

市内の児童生徒を対象に「豊後大野市人権を学ぶ子ども会」、市内出身の高校生を対象にした「高校生人権学習会」の会員を募集し、教育委員会社会教育指導員を中心に、豊後大野市人権・部落差別解消教育研究協議会、大分県人権・部落差別解消教育研究協議会、部落解放同盟大分県連絡協議会や関係団体等と連携しながら、放課後の

時間帯を利用した学習に取り組み、差別を見抜き・差別を解消するための実践力のある子どもの育成に努めました。

また、豊肥地区解放文化祭に参加し、劇や歌などによる様々な表現活動を通して、差別や人権に対する個々の感性を高めました。また、出演者とともに参観者もそれらと一緒に受け止めることにより連帯の意識を醸成し、人権の大切さをより多くの人たちに伝えました。

② 文化財の保存・継承

ア. 資料館運営事業

令和2年度末に移転作業や展示準備作業などを行い、市民に親しまれる郷土の学習施設として令和3年7月17日に新資料館が開館いたしました。小中学校や各種団体の視察研修など、市民へ文化財に関する学習機会や情報を提供し、文化財に対する保護意識の高揚を図れる教育施設としての取組を進めています。

企画展や講演会を開催するなど資料館を拠点施設としたジオパーク学習と連携した学習活動を行いました。今後も各学校教育への学習支援活動を進めると共に、郷土の先人たちを学べるような学習教材の作成を目指した資料収集にも努めていきます。

また、大分県立先哲史料館と共同で「豊後大野市の歴史と先哲」という啓発パンフレット（A3両面印刷）を作成していますが、豊後大野の各町を代表する偉人である朝倉文夫（朝地）、徳田白楊（緒方）、加藤長古（清川）、戸次道雪（大野）、幸貞左衛門（犬飼）、小野武夫（三重）を紹介しています。今後、これを発展させた啓発冊子の作成ができるよう資料収集に努めます。

イ. 文化財保護事業

登録有形文化財旧緒方村役場庁舎の改修工事など、文化財保存への取組や支援、ジオサイトにもなっている史跡などの環境整備を推進すると共に、主要な古墳等の調査報告を行って国指定を目指す資料作成を行いました。大野川支流緒方盆地における自然環境や歴史的変遷等を調査し、文化庁が行う「国重要文化的景観」の選定を目指し、保存活用計画書の作成を行いました。

ウ. 文化財保護意識の高揚とジオパーク活動の普及啓発

市内小中学校のふるさと学習支援として、ジオサイトに認定されている磨崖仏などの現地学習や学級での学習活動（合計52回）のほか、姫島ジオパークの小学生交流活動や社会教育関係団体の活動支援を行いました。また、ジオサイトの環境整備作業やケーブルTVと連携した情報発信を行いました。日本ジオパーク委員会による4年に一度の再認定審査が行われ、令和4年1月28日に再認定を受けました。

③ 図書館サービスの充実

ア. 図書館館外事業

令和3年度は本館の利用に重点を置き移動図書館は実施していませんが、市内小中学校のほぼ全クラスが図書館見学を行い、読書支援や学習支援につなげることができました。また、小・中・高等学校や幼稚園、保育園、認定こども園、公民館、児童館、福祉施設などの各種機関への団体貸出文庫を行いました。特に、小・中学校についてはテーマに合わせた学習のための支援を行い、各町の公民館については定期的な団体貸出など図書館まで来ることが困難な市民がいつでも図書館の本を利用できる環境づくりのための支援を行いました。

イ. 図書館館内事業

新図書館では滞在型の図書館をめざし、魅力ある資料の収集、暮らしや地域課題の解決、豊かな読書を支える拠点として、市民の様々なニーズに迅速かつ的確に対応し、常に新しい情報や資料を提供できるよう図書館資料の収集・整備の充実を図るとともに、計画的な蔵書整備を行いました。また、大分県立図書館や大分県内の公立図書館との相互貸借を円滑に行いました。

ウ. 図書館教育事業

新図書館の開館をきっかけに、気軽に訪れることが出来るよう年代や季節に合わせたワークショップの開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期や参加者数の制限をしながら実施しました。行事内容によっては中止を余儀なくされました。

また、図書館を「キャリア情報センター」として活用できるよう就職活動を支援するための情報コーナーを常設することができました。

エ. 図書館運営事業

貸出や閲覧、蔵書検索、予約、リクエスト、レファレンス、読書相談などのサービスの充実に努めました。また、滞在型の図書館として学習室や視聴ブースの利用や調査研究のための資料の閲覧など、市民のニーズに合ったサービスを提供することができました。

図書館の取組や活動などの情報発信については、広報誌等の定期的な刊行のほか、ケーブルテレビやインターネットを利用した情報発信、館内ロビーのデジタルサイネージでの新刊や人気書籍の紹介、イベント、おはなし会などのお知らせを行いました。利用者に対して積極的な情報提供を心がけ、図書館の利用促進につなげることができました。

また、市民が一度は図書館を来館することが出来るように図書館と各支所をつなぐ送迎バスの試験運行を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施することができませんでした。

④ 生涯スポーツの推進

ア. スポーツ推進総務事業

スポーツ団体の組織強化については、新型コロナウイルス感染防止対策を図りながら、地域におけるスポーツ活動の推進に関わりの深いスポーツ団体に対する指導と助言を行うとともに、相互の連携や協力を促進するなどの取組を推進しました。また、各町スポーツ振興会に補助金を交付し、誰もが適性等に応じて参加できる健康づくりと体力づくりを目的としたスポーツイベントを開催し、スポーツを実践する機会と生涯スポーツに親しむ機会の提供に努めました。

競技スポーツの振興については、コロナ禍により県民体育大会は中止となり、市民体育大会のみの開催となりましたが、指導者研修会への参加やスポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会に関しては、感染防止対策を講じて実施することができました。

イ. スポーツ施設管理事業

老朽化が著しいスポーツ施設の改修を計画的に行い、利用者の利便性及び安全の確保を行っています。令和3年3月に「豊後大野市スポーツ施設の整備等に関する基本構想」を策定しました。それを基に、本市のスポーツツーリズムの総合拠点施設として「総合スポーツ施設」の機能強化を図るとともに、スポーツ大会や合宿等の誘致を通じた地域経済の活性化に繋げることや各施設の老朽化状況や施設利用状況等を分析して集約化等の検討を行いつつ、スポーツの推進による健康で豊かな生活の実現を支える「地域スポーツ施設」の整備の方向性を定めるため「豊後大野市スポーツ施設の整備等に関する基本計画」を令和4年9月末までに策定するものとしています。

～結びに～

豊後大野市教育委員会では、市長部局の事務事業評価の見直しに伴い事務事業が細分化された結果、昨年度以上にきめ細かな評価を実施しました。しかし、外部評価アドバイザーから、各事務事業を実施したことによる得られた効果の分析には至っていないとのご指摘いただきました。事務事業評価の結果を教育施策に最大限活かしていくために、事業実施の効果についての記載について検討してまいります。

また、社会情勢の変化やニーズの多様化に応じて、事務事業の見直しや拡充が必要となりますが、中学校の部活動の地域移行やヤングケアラーなど、各課や市長部局と連携して取り組むべき新たな課題も顕在化しています。同時に、教職員や事務局職員の働き方改革を推進することが求められています。小中一貫教育校の推進やスポーツ施設整備計画の具現化など、これまで取り組んできた課題については、市民の理解と協力が得られるよう、現場との統一感、連携を強化しつつ、長期的ビジョンに立った事業の推進を図る必要がありますが、廃止や縮小すべき事務事業については、事務事業の目的や現状に対する効果等を見極め、適宜見直しを検討してまいります。

子どもたちが、郷土に愛着を持ち、将来、豊後大野市内で暮らし働くことに誇りを持てるように、教育体制の整備やさらなる事務事業の改善、ゆとりある職場づくりに取り組むことが求められていると認識しています。

最後に、本報告書の作成に当たり、多くのご意見とご提言を賜りました外部評価アドバイザーの皆様には深く感謝申し上げます。

また、市民の皆様には、この評価結果の公表に対して率直なご意見をお寄せいただくとともに、引き続き豊後大野市教育委員会の各施策に対してご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年度 事務事業

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書
豊後大野市教育委員会